


第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs										①人権尊重の推進 ◇市民や企業に対する人権に関する啓発活動の実施や、指導者の養成、情報収集・提供の充実を推進します。 ◇人権に関わる相談窓口や人権救済・保護に係る仕組の充実や、関係機関との連携強化を図ります。 ◇児童生徒が人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じた人権教育・人権保育の向上を図ります。 ◇「泉南市子どもの権利に関する条例」に基づき、関係機関の連携による子どもの権利擁護をはじめとした施策や虐待防止等の取組を推進します。  ②恒久平和の理念の継承  ◇非核平和の集い・8月の非核平和月間等、市民に対する恒久平和の理念の啓発を行います。 ◇戦争の惨禍や悲慘さを伝えることにより、戦争を知らない世代へ生命の大切さや平和の尊さを学ぶ機会を提供します。  ③多文化共生の推進  ◇市役所や公共施設における外国人相談窓口の充実や、外国人住民の地域活動参加促進のための多言語による情報提供を行います。 ◇国際交流組織の育成・支援や外国人留学生のホームステイ促進等、国際交流に関わる取組の充実を図ります。 ◇国際化への意識啓発や国際理解教育を推進します。	
施策	1	人権尊重・平和・多文化共生												
目指すまちの姿	誰もがかけがえない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち													
目指すまちの姿	性別や年齢、国籍等を問わず、市民一人ひとりがそれぞれ個性と能力を発揮しながら、お互いを認め合い、共に暮らすことができ、活躍することができる人権尊重・平和・多文化共生のまちづくりに取り組みます。													
施策に関する成果指標	指標項目				基準値(R3)				目標値(R14)					備考
	人権問題に関して理解が深まった人の割合				83.0%				88.0%					人権に関する講座・講演会等の参加者のアンケート結果の平均値
	進捗状況													
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考		
	目標	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0			
	実績	87.0	73.0											
達成率	104.2%	86.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
達成度	A	A												
掲載事業一覧【所管部局】												所管部局評価		
1-1-① 人権啓発事業【行政経営部】 1-1-① 総合相談事業【行政経営部】 1-1-① 地域共生のまちづくり推進事業【行政経営部】 1-1-① 子ども政策事業【健康子ども部】 1-1-① 教職員人権教育事業【教育部】 1-1-① 人権教育推進事業【教育部】 1-1-② 平和事業【行政経営部】 1-1-③ 国際化推進事業【行政経営部】 1-1-③ JETプログラム事業【教育部】												【行政経営部】 取組① 各種研修や講演会、集いを通して参加者の理解が深まるのと合わせて、市民・関係団体と連携を図りつつ、多くの市民の方々に参加してもらい目標値達成、さらに前年度を超える成果となるよう努める。 取組② 非核平和の集いやDVDで上映等、継続した事業を行うことで、引き続き平和意識の醸成に努める。 取組③ 大阪・関西万博の機運醸成として本市独自の取組を実施し、国際姉妹都市であるフィリピン共和国ダバオ市の認知度向上につなげることができた。今後はダバオ市との交流をさらに深めるための取組を模索していきたい。  【健康子ども部】 取組① 令和7年度から開始の「泉南市子ども計画」の着実な実施を図る。また、「泉南市子どもの権利に関する条例」の一部改正を行った内容を含めた条例の認識と理解を深めるため、研修等を実施し、子どもにやさしいまちを推進する。  【教育部】 取組① 教職員等を対象に個人権課題に関する研修を実施し、基礎知識や具体的な実践例、実践上の視点を学ぶ機会を提供した結果、参加者満足度は5段階評価で4.3であった。子どもの権利については、せんなん子ども会議やニュースレターの継続的な発行を通じて教職員や保護者の人権意識を高め、認知度向上と施策指標の達成を目指す。 取組③ CIRIによる国際交流活動は、幼児教育から中学校段階まで多様な学校間で年間を通じて実施され、国際交流の満足度向上に寄与した。今後も学校園にとどまらず、泉南市全体の国際化への意識啓発に努める。		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	人権問題に関して理解が深まった人の割合												備考			
○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位															
事務事業名 人権啓発事業		ソフト	○	款項目	2	1	12	目標値												
<事業概要> 市民との協働のもと、様々な人権課題について啓発活動を推進することにより、市民の人権意識の高揚をはかり、もってすべての人の人権が尊重される社会の実現をめざす。		事業に関連するSDGs		細目		実績														
				04-人権啓発事業		87.0 73														
				(関係法令・市条例・計画等)		達成率 104.2% 86.9% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%														
		市単独		達成度 A A																
		泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン																		

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 人権啓発事業 ①「市民の集い」における街頭啓発実施(4駅2回)、ティッシュ配布2000個×2回=4000個 ②憲法週間「市民の集い」の実施(参加者170人)、アンケート回収率88%(150人) ③人権週間「市民の集い」の実施(参加者242人、アンケート回収率36%(87人) ④人権啓発リーダー養成講座の実施(2回、延べ52人参加) ⑤ヒューマンライツセミナーの実施(1回、24人参加) ⑥各校区の集い(参加者合計4,750人) ・信連校区(590人)、雄信校区(227人)、榊井校区(523人)、東校区(148人)、西信連校区(319人)、砂川校区(536人)、一丘校区(296人)、新家校区(479人)、鳴滝校区(295人)、西信連中校区(259人)、泉南中校区(469人)、信連中校区(609人) ⑦人権の花運動(信連こども園、たらいこども園)				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 2,941千円 国庫支出金 0千円 府支出金 136千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 174ページ 一般財源 2,805千円															
職員数/人件費 正職員 1.82人 正職員以外のその他職員 0.00人 16,462千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> ここ数年コロナ禍により、これまでと同様の啓発活動ができなかったが、令和6年度についてはほぼ予定通り活動を実施することができた。 駅頭啓発は、予想以上に啓発物品(ティッシュ)を手にとってもらえ、その結果集いに参加してくれたという人もあった。(参加者アンケートより) 校区人権協については、小学校だけでなく中学校区での取組も追加し、4中学校区のうち3中学校区(泉南中・信連中・西信連中)で集いの開催を行った。今後小中学校再編に向けた地域間同士の交流が持てる機会をつくった。ただし、地域住民・PTAの参加が少ない校区もあり、まず参加してもらえるような工夫を検討する必要がある。 人権の花運動により、こども園2園へチューリップの球根等を提供し、協力しあって花を育て、生命の尊さを学ぶことにより、人権尊重思想を育むことができた。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 市民の集いについては、令和6年度映画上映を行ったが、令和7年度については、できるだけ若い世代にも参加してもらえよう、様々な手法による企画内容を検討するとともに、広報についてもSNSを活用するなど、これまで以上に積極的に行う。 また、校区の集いについては、地域住民・PTAの参加を増やすため、学校にも協力していただき、例えば参観日に集いの日程を合わせるなど、市民が参加しやすい時期を調整するとともに、テーマについても学校・PTAと協力しながら検討していく。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 小学校区の集いについては、子育て世代のPTAが参加しやすい機会となるよう、引き続き参観日に集いの日程を合わせる等、市民が参加しやすい日程・テーマについて検討していく。また、中学校区の集いについては全中学校区で実施できるよう、校区人権協・学校・PTAと相談しながら、限られた予算・人員の中において、啓発事業が実施できるよう検討する。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	積極的な働きかけによる相談件数											備考			
○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		継続	○	会計名															
事務事業名 総合相談事業		ソフト	○	款項目	2	1	12												
事業に関連するSDGs		ハード		細目	09-総合相談事業														
<事業概要> 人権相談、地域就労支援、進路選択支援、生活相談など市民が一人で悩まず相談できる体制を整備するとともに、相談を通じて人権課題の現状を把握する。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)															
		泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン																	
指標名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	備考						
目標	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	回								
実績	61	73																	
達成率	87.1%	97.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%								
達成度	A	A																	

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 人権相談所の開設日数: 241日 2. 相談件数: 人権相談12件、地域就労支援184件、進路選択支援8件、生活相談358件 (R5:477件→R6:562件) 3. 積極的な働きかけによる相談 ①アウトリーチ: 2件<地域において、相談できずにいる対象者を発見し、相談員から積極的に働きかけ、その課題を確認し対応すること> ②ケース検討会議: 32件<対象者の抱える課題への対応策に関し、関係機関を集めて当該ケースへの対応方針を検討するための会議> ③フォローアップ: 0件<一旦「既相談者」に相談員からの働きかけで電話や訪問などによりその後、課題の改善がみられなかったため、改めて当該課題の解決に向けた相談対応を行うこと> ④寄り添い: 35件<解決し難い事案について、相談員等が一緒に考えて関係機関へ出向き相談対応すること> ⑤出張相談: 4件<相談者の状況により、来所が困難である場合に、相談員等が相談者の自宅等に出向いて相談対応すること>		事業の財源 10,230千円 国庫支出金 0千円 府支出金 7,475千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 175ページ 一般財源 2,755千円		職員数/人件費 正職員 0.24人 正職員以外のその他職員 0.00人 2,171千円		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 相談件数については、令和5年度と比較して大幅に増加した。令和6年度の件数が増加し、活動指標にもしている「積極的な働きかけによる相談」の効果が現れた結果であると考えられる。相談の周知についても、連絡先を記載したチラシや啓発物品をポスティングすることとあわせて、SNSなどを利用した周知もを行っている。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 行政・地域NPOと連携し、相談ニーズが高いと予想される対象者への働きかけを積極的にするとともに、受け身の相談機関にならないよう、様々な機関と連携を図るよう努める。 また、最近では外国人の方からの相談が多いため、外国人の方がスムーズに相談窓口につながるような取組を実施していきたい。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直しで継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 相談件数が減少すると、大阪府からの交付金の減額が予想される。丁寧な相談窓口の広報活動による相談件数の増加を見込むとともに、「積極的な働きかけによる相談」にも取り組むことで、安定した事業の継続を図る。その結果、地域住民の困りごとを総合的に対応できる事業とする。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 人権推進課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 2 1 12 ハード <input type="checkbox"/> 細目 15-地域共生のまちづくり推進事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) 泉南市子どもの権利に関する条例、泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン		事務事業に関する活動指標 指標名 ゆうてみい(YOU TO ME)サポーターとして登録した人の数 備考 令和6年度を養成の最終年度とする										
事務事業名 地域共生のまちづくり推進事業 事業に関連するSDGs				目標値 実績 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 目標 40 50 人 実績 43 42 達成率 107.5% 84.0% 達成度 A A										
令和6年度 事務事業実績 Do 2														
主な事業内容 ゆうてみい(YOU TO ME)サポーター養成研修の実施 前期 6月～7月にかけての4回連続研修 延べ参加者数 38名 サポーター登録者 0名 後期 1月～2月にかけての4回連続研修 延べ参加者数 60名 サポーター登録者0名				令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定										
事業の財源 決算額 265千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 265千円 決算書ページ 176ページ 一般財源 0千円														
職員数/人件費 正職員 0.12人 正職員以外の その他職員 0.16人 1,649千円														

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価														
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 毎年、新しい人を確保するために、基本となる内容を講座として組んでいるので、リピーターの子どもへの権利に関する理解は進んでいると考えられる。しかし、新たなサポーターの登録にはつながらない。 後期研修は、内容を一新して、すべて新しい講師の方で、テーマも「子どもの声を聴く」ということに絞ったところ、前期研修よりも人数は確保することができた。また、内容も「学校で聴く」「相談室で聴く」「第3の居場所で聴く」「災害時、復興時に聴く」という子どもの生活をとりまく様々な場所での話の聴き方を学び、参考になった。		令和7年度の改善の取組 <改善内容>		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了					事業の方向性と取組の内容 備考	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規	○	担当課名	子ども政策課			指標名	研修受講者数										備考
○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		継続		会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名  子ども政策事業		ソフト	○		予算	款項目	3		2	5	目標	20	20	20	20	20	20	20	
事業に関連するSDGs		ハード		細目	03-子ども政策事業			実績	10										
<事業概要> 子どもの権利条約及び泉南市子どもの権利に関する条例の認識と理解を深め、子どもの最善の利益の実現に努めるもの。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
				子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)、泉南市子どもの権利に関する条例			達成度	C											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・令和6年度新規採用職員研修(1回、受講者数10人) ・子どもの権利救済機関を設置するにあたり、人権推進課・人権国際教育課とともに泉南市子どもの権利に関する条例の一部改正を行った。また、5年を1期とする子ども計画の更新年度であったため、子どもや保護者を対象としたアンケート結果を踏まえ、子どもにやさしいまちづくりを目指す計画策定を行った。																	
事業の財源 決算額 11,825千円 決算書ページ 221ページ		国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 9,966千円	一般財源 1,859千円														
職員数/人件費 正職員 0.32人 正職員以外の その他職員 0.64人 5,148千円																	

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価


方向性

令和6年度 事務事業評価

<成果・課題> 研修で「泉南市子どもの権利に関する条例」があることを初めて知った参加者が多く、また自身の業務で研修内容を活かしていきたいと言った声があり、泉南市子どもの権利に関する条例を新たに周知啓発することが出来たが、研修時間を超過したため、研修内容を精査する必要がある。 研修をより効果的にするため、子どもにやさしいまちを推進するための施策の充実を図る。 子ども計画の策定においてはアンケート調査と合わせてヒアリングを実施することで、地域とのつながりの必要性や子どもの居場所に必要なものなど、現状の課題を把握することが出来た。また、今後は次世代育成支援対策地域行動計画策定委員会で進捗を確認することで、課題を解決していくこととする。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> グループワークでは、活発な意見交換が出来るようにファンリテートを行い、研修時間においてもベース配分を行う。施策の充実を図るため、次の4点を関係課と連携し、取り組む。 1.【相談・救済機関への協力と広報啓発】 →市内各小中学校園に対して、救済機関を周知啓発するリーフレットを配布 2.【職員研修の充実】 →全職員を対象とした、子どもの権利学習会を実施 3.【子どもの思い・声を聞く、安全・安心の居場所】 →関係課と連携し、子どもの声を聞き現状の把握に努める 4.【第11条せんなん子ども支援ネットワーク】 →地域で活動される団体や個人の方との繋がりを形成する	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 泉南市子ども計画で策定しているように、泉南市子どもの権利に関する条例の普及推進を行うため、毎年、子どもの権利に関する施策推進本部で決定する当該年度の重点施策事業を実施し、進捗を確認しながら子どもにやさしいまちを推進する。	備考
---	--	---	-------------------------------	---	--	----

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	人権国際教育課		指標名 人権教育指導者育成講座・人権保育教育講座参加者の満足度(5段階評価)											備考
○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名 教職員人権教育事業		ソフト	○	予算	款項目	9 1 5	目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
事業に関連するSDGs		ハード			細目	02-教職員人権教育事業	実績	4.5	4									
<事業概要> 教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高められるよう、教職員を対象として研修を実施する。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	112.5%	107.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
				泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、教育振興基本計画			達成度	A	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高めることができるよう、教職員を対象として研修を実施する。 ・人権教育指導者育成講座の実施(7/29実施 226人参加) ・人権保育教育講座(1/7実施 35人参加) ・初任者人権研修(6/14実施 33人参加) ・人権保育担当者会(年間2回) ・人権教育担当者会(年間2回) ・人権教育に関するヒアリング(年間2回・16校園)				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																	
事業の財源 1,300千円		決算額	0千円	国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	決算書ページ	297ページ	一般財源	1,300千円						
職員数/人件費		正職員	0.66人	正職員以外の その他職員	0.00人	5,970千円															


評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 令和6年度は、教職員や関係者を対象とした人権教育研修を計画的に実施し、参加者から前向きな評価が多く寄せられた。研修を通じて、個別の人権課題に関する理解が進み、参加者一人ひとりの人権意識の醸成につながったと考えられる。 一方で、組織全体や日常業務の中に人権尊重の視点を一層浸透させるには課題が残っている。多様な立場や背景を持つ人々が互いに尊重し合い、安心して共に暮らせる地域社会を実現するためには、単に研修を実施するだけではなく、研修後の実践支援や振り返りの場を設けること、また継続的な学びの機会を確保することが重要である。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 「人権教育の指導方法等」の在り方について[第三次とりまとめ](平成20年3月・文部科学省)では、人権教育を進めるうえで、知識・価値・態度・技能という三つの側面を意識し、それらを偏りなく組み込むことが大切だとされている。各学校園では、毎年の総括を重ねる中で、この三側面を意識した取組が少しずつ浸透し、バランスを考えた活動が進んできている。 今後は、この流れをさらに定着させるため、行政として引き続き指導助言を行い、各校園が日々の実践で「どの側面が強く、どの側面が不足しているか」という視点を持ちながら、教育活動をより深められるよう働きかけていく。個別の人権課題についての学びを充実させるとともに、知識の習得にとどまらず、態度や行動の変容、他者との対話や発信の力を育む取組へと発展させていくことが、これからの人権教育における重要な課題になる。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 引き続き、教職員や関係者を対象とした人権教育研修を計画的に実施し、知識・価値態度・技能の三側面を意識した取組を各校園で定着させるよう指導助言を行う。研修後の実践支援や振り返りの機会を確保し、個別の人権課題についての理解を深めるとともに、日常の教育活動の中で人権尊重の視点が浸透するよう継続的に取り組んでいく。	備考
----------------------	--	---	---	-------------------------------	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	人権国際教育課										備考		
○ 主な取組 ① 人権尊重の推進		継続	○	会計名	一般会計												
事務事業名 人権教育推進事業		ソフト	○	予算	款項目	9	1	5									
事業に関連するSDGs		ハード		細目	03-人権教育推進事業												
各学校園において、児童生徒・保護者・保育士教職員・市民に対して人権教育・人権教育・キャリア教育推進のための学習活動や研修会を行う。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)													
		<small>泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権教育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画</small>															
指標名		子どもの権利について知っている児童生徒の割合										備考					
目標		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
実績		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	%					
達成率		44.3%	62.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
達成度		C	C														

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援 ・「泉南市子ども会議」の実施(全10回 延べ 95人参加) ・市長報告の実施(3/8実施 9人参加) ・ニュースレターの発行(11回発行) ○泉南市子どもの権利に関する条例第8条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 ・11月20日「泉南市子どもの権利の日」の取組の実施 ・教職員研修の実施(6/14実施 33人参加) ・保護者研修の実施(4回実施 延べ39名参加) ○人権教育・人権教育・キャリア教育に関する学習活動(研修会)の実施回数 26回													
事業の財源 決算額 1,162千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 297ページ 一般財源 1,162千円													
職員数/人件費 正職員 0.92人 正職員以外の その他職員 0.00人 8,321千円													

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 5月から毎月1回「せんなん子ども会議」を開催し、子どもたち自身が主体的に意見を出し合い、活動内容を決定してきた。令和6年度は、子どもたちからの提案によって、フリーマーケットやクイズラリーといった新たな取組を実施し、地域住民との交流の機会を創出することができた。これらの活動は参加した子どもたちからも好評であった。また、市内の学校園・施設において「泉南市子どもの権利の日」の取組が行われ、子どもの権利の4つの原則について理解を深める学習活動が展開された。各学校園・施設での実践状況をアンケートにより把握し、まとめた内容を冊子として配布することで、取組の共有と意識の啓発を図った。 一方で、条例や子ども会議に関する普及啓発が、依然として子どもや保護者、市民全体への認知度向上には十分つなげていないという課題が残った。今後は、子どもたちの活動の魅力をより効果的に伝える広報のあり方や、日常的な場面で子どもの意見を生かすことができる仕組みづくりが求められる。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 子ども自身が主体となって考え、自由に意見を出し合える場づくりを進めるとともに、行政の各部門とも連携を深め、子どもたちの声を地域のみならず具体的に反映できる仕組みを一層強化していく。 さらに、子どもの権利に対する社会全体の理解を広げるため、各学校園・施設への積極的な働きかけを行い、教職員や保護者を対象とした研修の充実を図りながら、学校現場での実践支援に努めている。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 これまでの取組を継続し、子どもたちが主体的に意見を出し合える場の運営や、地域のまちづくりへの意見反映を進める。また、学校園・施設との連携を図り、教職員・保護者向け研修や実践支援を継続することで、子どもの権利に関する理解の深化と普及啓発を引き続き推進する。	備考
----------------------	--	---	--	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	人権推進課		指標名 非核平和の集い参加者数												備考
○ 主な取組 ② 恒久平和の理念の継承		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名	平和事業	ソフト	○	予算	款項目	2 1 12	目標	180	180	200	200	220	220	240	240	260	260	%	
事業に関連するSDGs		ハード			細目	06-平和事業	実績	177	221										
<事業概要> 非核平和都市宣言都市として、世界の恒久平和の実現をめざし、市民一人ひとりが「平和の尊さ」についての意識向上をめざす。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	98.3%	122.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
							達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・「非核平和の集い」の実施 映画「あの日のオルガン」上映(参加者221名)、アンケート回収率90%(199名) ・本庁ロビーにて非核平和のビデオ上映(8/1~8/15) ・市役所の壁面に懸垂幕、のぼりの掲示(8/1~8/31) ・市内2か所(市役所・図書館)に設置している非核平和都市宣言モニュメントの修繕を行った。				令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 718千円		決算額	0千円												
		国庫支出金	0千円												
		府支出金	0千円												
		市債	0千円												
		その他	0千円												
決算書ページ 175ページ		一般財源	718千円												
職員数/人件費 正職員 0.12人 正職員以外の その他職員 0.16人 1,649千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

<成果・課題> 戦争は過去の話ではなく、今まさに世界で起きている現状において、若い世代(子育て世代)にも戦争の悲惨さ、命の尊さを知っていただく機会とするため、戦時下での保育園疎開をテーマとした映画を上映した。参加者数は令和5年度よりも増加したが、戦争を実際に経験した人が少なくなり、戦争体験を生の声で伝えることが困難となる中、若い世代へどのように語り継いでいくかの検討が今後必要である。 また、文化ホールの空調設備の劣化により、ホール内がとて暑く、開催時期や開催場所についても検討が必要である。 Check 3 非核平和都市宣言モニュメントの修繕を行い、戦後80年に向けてさらなる平和事業の強化につなげた。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和7年度については、戦後80年の節目の年でもあり、8月の非核平和の集いに加えて、11月にイオンモールりんくう泉南のイオンホールでの戦争体験を語る会を予定している。8月の非核平和の集いについては、文化ホールの空調設備の劣化もあり、開催場所をあいびあ泉南とする予定。戦争体験を語る会については、11月の人権作品展と併せて開催することで、子どもの作品を親に来場する保護者など、戦争を知らない、より若い世代の参加者増加につなげる。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考	
		事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 世界では今もお戦争が起きており、これからも戦争の悲惨さ、平和の尊さを啓発し続けることが必要である。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規	担当課名	政策推進課		指標名 国際交流実績数											備考	
○ 主な取組 ③ 多文化共生の推進		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	交流実績(両市双方の関わりがあるもの) ①オンライン交流会
事務事業名 国際化推進事業		ソフト	○	予算	款項目	2 1 9	目標	1	2	2	2	2	2	2	2	2	回	
<事業概要> 関西国際空港を有する自治体として、外国人市民やインパウンドの増加に対応すべく、姉妹都市との連携による国際交流の機会を創出することで国際化および多文化共生のまちづくりを行う。		ハード			細目	17-国際化推進事業		実績	2	1								
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成率	200.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		泉南市自治基本条例、泉南市国際化ビジョン				達成度	A	C										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容		①TEAM EXPO FES in泉南、SENNAN PHILIPPINES EXPOにおいてPR活動を実施4/20、4/21、3/22 ※SENNAN LONG PARK/タライサザンビーチにおいてブースを設置し、フィリピン共和国やダバオ市の魅力を発信した。 ②フィリピン共和国若手議員団との交流会5/10 フィリピン共和国若手議員等と市長、副市長、市議会議員との交流会を実施した。(フィリピン共和国若手議員等34名、本市市議会議員6名) ③大阪・関西万博フィリピンパビリオンのお披露目会においてフィリピン共和国関係者と交流(市長、6/24)※ ④市内各中学校でのオンライン交流会の実施※ 小学校3校、中学校1校 計4校(延べ参加人数164人) ⑤庁内英会話研修の実施(計12回) ⑥フィリピン料理風学校給食の提供 ※印は万博推進事業で実施した内容													
事業の財源		54千円		国庫支出金 0千円		府支出金 0千円		市債 0千円		其他 54千円		決算書ページ 168ページ		一般財源 0千円	
職員数/人件費		正職員 0.35人		正職員以外の その他職員 0.00人		3,166千円									

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		<成果・課題> ・大阪・関西万博開催1年前ということで万博に向けた機運醸成として本市独自取組を実施し、フィリピン・ダバオ市との姉妹都市提携の認知度向上に繋げることができた。 ・ダバオ市との姉妹都市交流をさらに深めるための取り組みを検討していく必要がある。引き続き、小中学校のオンライン交流やダバオ市関連のイベントを実施するとともに、新たな取組についても考える必要がある。 ・国際化ビジョンの改訂作業が遅れており、令和7年度中の改訂を目指し、作業を進める必要がある。		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
Check 3		<改善内容> ・市内小中学校におけるオンライン交流が令和7年度から教育委員会主導の実施となるため、関係各部署の連携がしっかりと行える体制を整える。 ・万博の開催年となるため、万博終了後のレガシーの継承や事業展開について検討を行う。 ・ダバオ市姉妹都市交流の新たな取組を検討する。 ・国際化ビジョンの改訂作業を進める。				1 現状維持		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
						2 見直して継続		○		・改訂国際化ビジョンをもとに、本市の国際化に関する事業を推進する。 ・フィリピン・ダバオ市との交流を継続し、ダバオ市との姉妹都市提携の周知活動を行うことにより、国際化の意識啓発や多文化共生の推進につなげる。	
						重点化					
						手段改善					
						効率化(コストダウン)					
						規模縮小					
						事業統合					
						3 休止・廃止					
						4 完了					

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標												
○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生		新規		担当課名	児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%)90%以上											
○ 主な取組 ③ 多文化共生の推進		継続	○	会計名	備考											
事務事業名 JETプログラム事業		ソフト	○	款項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
<事業概要> JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また、幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。CIR/ALTを市民との交流のために派遣し、市内での国際交流を推進する。		ハード		細目	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	%
		市単独	○	02-JETプログラム事業 (関係法令・市条例・計画等)		実績	89	89								
				泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画		達成率	99.1%	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						達成度	A	A								



令和6年度 事務事業実績 Do 2				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
主な事業内容		【翻訳・通訳(CIR)】(延べ184回) ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳  【多文化共生・国際交流】(延べ374回) ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施  【令和6年度 配置実績】CIR 4名 ALT 20名														
事業の財源		決算額	20,997千円	国庫支出金	0千円											
				府支出金	0千円											
				市債	0千円											
				その他	0千円											
		決算書ページ	296ページ	一般財源	20,997千円											
職員数/人件費		正職員	0.98人	正職員以外の その他職員	1.00人	8,864千円										

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価				令和8年度 実施計画													
事務事業の改善内容		<成果・課題> 令和6年度は、JETプログラムを活用した多文化共生の推進において、翻訳対応と国際交流の両面で幅広い取組を展開した。翻訳件数は増加傾向にある中で、令和5年度と同程度の実績を維持しつつ、生活や教育に関する情報を多重語で発信することで、外国にルーツをもつ市民へのサービス向上を図った。 国際交流では、ALTによる授業支援に加え、幼児や市民を対象とした交流活動や講義もを行い、多様な文化への理解を深める機会を広げた。一方で、翻訳や交流にとどまらず、悩みや困難を抱える市民が安心して相談できる体制の整備など、より実効性のある支援の構築が今後の課題である。		Check 3		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組						備考	
				<改善内容> 令和7年度においては、国際交流員(CIR)による多言語相談窓口の存在をより多くの保護者に知ってもらうことを目的に、学校園との連携を一層強化し、園だよりや個別懇談等を通じた周知の工夫を継続的に進める。また、令和6年度から実施している異文化理解講座は、参加者から高い評価を得ており、引き続き内容の充実と案内方法の工夫を重ねながら、市民への浸透を図る。国際交流活動についても、従来の実施形態を継続しつつ、各活動の意義や目的がより伝わるよう、実施前後の情報提供や学校との連携を丁寧に行うことで、取組の定着と効果の向上を目指す。				事業の方向性		事業の方向性と取組の内容							
						1 現状維持		○		令和8年度以降も、現行の国際交流活動および異文化理解講座、多言語相談窓口の取組を継続し、これまで培ってきた実績と信頼を基盤に、事業の安定的な運営を図る。学校園や地域との連携を維持し、既存の取組の質の確保と定着を重視しながら、多文化共生の推進に引き続き取り組む。							
						2 見直して継続											
						重点化											
						手段改善											
						効率化(コストダウン)											
						規模縮小											
						事業統合											
						3 休止・廃止											
						4 完了											

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs										①男女平等参画社会実現に向けた環境づくり ◇すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発活動や教育を推進します。 ◇あらゆる人が自分らしく暮らすことができる地域社会づくりに向け、性の多様性を尊重する環境づくりを推進します。 ◇行政委員や審議会委員、市職員における管理職の女性登用を拡大します。 ②ワーク・ライフ・バランスの実現 ◇仕事と子育てや介護等が必要な時期に多様な働き方を選択することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を促進します。 ◇泉南市役所における働き方改革や育児休業・介護休業の取得を促進します。 ③あらゆる暴力の根絶 ◇家庭、地域、企業、学校等あらゆる場面における暴力や虐待防止のための啓発を行います。 ◇暴力や虐待の発生の未然防止や被害者を支援するため、関係機関との連携による相談窓口機能の充実を図ります。
施策	2	男女平等参画・女性活躍	  										
目指すまちの姿	誰もが性別等に関わらず、あらゆる分野で参画し、活躍することができるまち												
施策に関する成果指標	まちづくりのあらゆる分野で男女平等参画の理念に基づく取組を進めることで、家庭や職場、地域における理解を浸透し、実践につなげるとともに、性別を問わず誰もが活躍できるまちづくりに取り組めます。												
	指標項目				基準値(R3)				目標値(R14)		備考		
	行政委員・審議会委員等における女性登用率				34.9%				40.0%				
	進捗状況												
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考		
目標	34.9	35.0	35.5	36.0	36.5	37.0	37.5	38.0	39.0	40.0			
実績	34.1	36.7											
達成率	97.7%	104.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価	
1-2-① 男女平等参画啓発事業【行政経営部】 1-2-③ 女性相談事業【行政経営部】												【行政経営部】 取組① まずは各種研修や講演会、集い等の啓発事業への参加を通じて、男女平等参画の理解の促進するとともに、政策や方針決定過程への女性の参画を促進していくよう努める。 取組③ 女性相談、電話相談共に様々な媒体を活用した周知を行ったことで相談件数の増加につながった。引き続き、周知方法を検討する。DV相談については、相談者の不安を取り除き、速やかに救済できるよう関係機関と連携し対応していく。また、女性相談支援員の採用活動を継続的に行う。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる ○ 施策 2 男女平等参画・女性活躍 ○ 主な取組 ① 男女平等参画社会実現に向けた環境づくり ② ワークライフバランスの実現		事業区分 新規 〇 担当課名 人権推進課 継続 〇 会計名 一般会計 ソフト 〇 予算 款項目 2 1 12 ハード 〇 細目 10-男女平等参画啓発事業 市単独 (関係法令・市条例・計画等) 泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン		事務事業に関する活動指標 指標名 男女平等参画に関して理解が深まった人の割合 備考 令和6年度実施男女の講座でのアンケートより										
事務事業名 男女平等参画啓発事業 事業に関連するSDGs				目標値 実績 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 目標 91.0 92.0 93.0 94.0 95.0 96.0 97.0 98.0 99.0 100.0 % 達成率 99.8% 92.9% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ●男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施(参加者30人) 講演名:「朝ドラ「虎に翼」の魅力がふりかえる～多様な人権メッセージが織り込まれて～」 ●男女平等参画社会づくり講座の実施(2回、参加者延べ53人) 講座名:「体と心を元気にする誰でもできるどこでもできるセルフケア」美姿勢エクササイズ 講座名:「香りの力でストレスマネジメント」ロールオンアロマづくり ●男女平等参画情報誌「Step」の作成(2500部) テーマ:災害はいつ起こるか分からない。だからいっしょに考えよう。				令和8年度 実施計画 →令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定										
事業の財源 決算額 782千円 国庫支出金 0千円 府支出金 566千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 175ページ 一般財源 216千円														
職員数/人件費 正職員 0.39人 正職員以外の その他職員 0.16人 4,091千円														

評価



方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> 男女啓発講演会では令和6年に話題になったドラマ「虎に翼」を題材にしたことで普段講座に参加したことがない方々の参加にもつながった。ドラマで描かれていた様々な人権課題や、当時女性がおかれていた状況と現代にも通じる女性の困難さについても理解が深まる内容であった。づくり講座では、できるだけ多くの方に男女平等参画ルールを知っていただき、男女平等参画社会への理解を得られるよう、参加しやすいテーマを企画した。実施時間についても、午前と午後の早い時間帯にしたことで、応募を超える参加者の増加につながったが、子育て世代の参加者確保には課題が残った。情報誌Stepについては、市民の集い等の啓発イベントで配布するだけでなく、防災をテーマとしたことで、地域の自主防災会議などで活用いただくことができた。引き続き、男女平等参画ルールステップ登録団体と意見交換しながら、テーマ設定、実施時間等工夫しながら、取組を進める。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 女性の生きづらさや悩みは年代によっても様々で、女性ができるようなことで悩み、課題を抱えているか、様々な視点からニーズ調査をする必要がある。そのうえで、テーマを検討し、市民自らの意思で、自主的に参加してもらえる内容を企画することが大切と考える。 また、令和6年度のように講義形式、参加型学習、冊子による啓発等、様々な手法を取り入れ啓発してことも検討しながら、幅広い年代で参加者が増えるよう、啓発事業を進めていく。 令和7年度は男女共同参画の視点と防災をテーマに講座を実施し、職員も含めて、災害時の女性の立場に立った意識啓発を行ってきたい。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 テーマ設定については、本市の課題や社会的関心のある内容を選定していくことで、さらに多くの方へ周知啓発を行い、男女平等参画社会への理解を深め、意識向上に努めていきたい。 その結果として、行政委員・審議会委員等における女性登用率の向上につながるよう、最終年での目標達成に向け、引き続き、市民への参加の呼びかけ、限られた予算・人員の中で、工夫しながら意識啓発につながる取組を進めていく。		備考	
---	--	---	--	---	--	--	--	----	--

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 2 男女平等参画・女性活躍		新規		担当課名	女性相談を利用した件数(電話相談を含む)												備考	
○ 主な取組 ③ あらゆる暴力の根絶		継続	○	会計名														
事務事業名 女性相談事業		ソフト	○	款項目	2	1	12											
事業に関連するSDGs		ハード		細目	08-女性相談事業													
<事業概要> 女性の人権が擁護・尊重される社会の形成のため、DVやセクシャルハラスメントに対する啓発を進めるとともに、相談窓口の一元の充実を図る。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)														
 		泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン																
		指標名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
		目標値	実績	108	112	116	120	124	128	132	136	140	144	件				
		達成率		98.1%	131.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		達成度		A	A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・女性相談の実施(年144回) 相談件数95件(稼働率66%) ・電話相談の実施(年間48回) 相談件数52件(稼働率108%) ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施(参加者23名)講座名:「相談業務に関わる方の対応力アップとエンパワメントの視点」 ・図書館にてパープル・オレンジリボン月間啓発パネル展(11/1~11/30) ・市役所ロビーにてパープル・オレンジリボンツリーの設置、本庁壁面に懸垂幕、のぼりの掲示(11/1~11/30) ・ひだまり、図書館、保健センターにて啓発物品配布 ・JR新家駅にて駅頭啓発(11/1)		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定														
事業の財源 決算額 1,175千円 国庫支出金 0千円 府支出金 30千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 175ページ 一般財源 1,145千円																
職員数/人件費 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.12人 2,684千円																

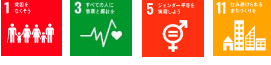
評価

方向性


令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> 女性相談・電話相談ともに、令和5年度と比べて件数が増加した。 支援措置面談時の周知や、SNS等での広報により一定数効果があったと考えられる。また、パープル・オレンジリボン運動期間においても、家庭支援課と連携し、啓発パネル展の実施、公共施設での啓発物品の配布、周知を行った。 近年職員が対応するDV相談件数は増えており、DVIに限らず悩んでいる女性はまだまだ多くいることが予想されるため、今後も周知方法を検討する。 また、相談員・支援員のスキルアップ講座については、日頃より相談業務や支援員として従事している者にとつて、改めて傾聴の大切さや自身のジェンダーバイアスに気づくことができる内容であった。令和7年度についても、相談員・支援員のニーズも把握しながら、効果的な研修内容にする。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> パープル・オレンジリボン月間には、より多くの方に必要な情報が届くよう、新たな周知方法としてイオンモールりんくう泉南での街頭啓発、啓発パネル展を予定している。また、泉南市事業所人権推進連絡委員会への周知など、企業へも積極的に周知を行う。 令和6年4月に施行された、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に基づき、女性相談支援員の採用活動を継続し、今まで以上に女性相談の充実を図る。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 2 見直しで継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 女性相談支援員の採用ができた際には、現在実施している女性相談・電話相談の実施回数、実施時間等の見直しを行う。	備考
---	--	---	---	---	----

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs										①保育環境の充実 ◇保育人材の確保や定着、キャリアアップの支援等を行います。 ◇保育施設と児童発達支援を一体的に行うインクルーシブ保育や、療育支援に係る専門機関との連携を図ります。 ◇保育施設・保育士等による地域の子育て支援や、保護者に対する助言等により、地域や家庭における保育の充実に図ります。 ◇子育て関連施設の充実に図ります。 ②子育てしやすい環境の整備 ◇個々の家庭、子どもに寄り添い、それぞれに応じた切れ目のない、継続的な支援を行います。 ◇就学前の子どもとその保護者の居場所づくりや、ふれあえる機会づくり、子育てに関する情報提供等の充実に図ります。 ◇身近な子育て支援者の人材発掘、育成、見守りがある地域づくりを行います。 ◇家庭で協力して子育てを行うための啓発活動を促進します。 ◇児童虐待の発生を予防するため、面談等を通じ、保護者等への支援を行います。 ③子どもと保護者の健康づくりの推進 ◇妊娠中から出産、子育て期に至るまで、安心を確保できるよう、各機関の機能充実や連携強化、母子の健康管理、発達相談等を行います。 ◇近隣市町や医師会との連携等による周産期医療や、小児医療の体制の強化を図ります。
施策	3	子育て支援											
目指すまちの姿	子どもや保護者が社会や地域に見守られ、子育て環境が充実し、安心して子育てができるまち												
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)		目標値 (R14)		備考						
	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合		95.8%		99.0%		3歳6か月児健康診査のアンケート集計より						
	進捗状況												
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考		
目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0			
実績	93.2	94.0											
達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】													所管部局評価
1-3-① 認定こども園事業【健康子ども部】			1-3-② 地域子育て支援拠点事業【健康子ども部】										【健康子ども部】 取組① 民間保育園に対し保育人材支援や保育士等キャリアアップ研修事等の補助金により支援を行った。インクルーシブ保育のため、児童発達支援センター職員と学期に1回各施設を訪問し、子どもの観察や支援方法の助言を行った。地域子育て支援センターとの連携や園庭開放等で、地域の保護者の子育て相談を受けたりアドバイスを行ったりした。安心安全な保育ができるよう、計画的に修繕、補修等を行い環境を整えている。 取組② 家事・育児等に対して不安や負担を抱え、支援を行うことが特に必要な家庭に対し、訪問支援員が訪問し家事支援や育児支援を行い、当該家庭の養育環境を整えた。児童虐待防止のため親支援面接・出張型生活場面活動支援を必要な家庭に行った。また、専用フリーダイヤルや手紙等をツールとした相談対応を行った。食事の提供をおとした子どもの居場所を確保するため、子ども食堂の運営に必要な費用の一部を補助した。子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る取組を行った。また、子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、地域への愛着を深めることができるよう出産記念品を配布する取組を行った。地域子育て支援拠点で乳幼児の遊びの広場を開催することにより、子育て世帯が集い交流することができ、保護者に対して教育・保育・保健その他の情報提供及び必要に応じた相談・助言を行った。 取組③ 全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援及び安全・安心な周産期医療の確保の取組を行った。また、子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上に寄与するとともに、その健全な育成と福祉の増進の取組を行った。今後も継続して、子どもと保護者の健康づくりのため、各機関の機能充実や連携強化を図る。
1-3-① 民間保育所等支援事業【健康子ども部】			1-3-② ファミリーサポートセンター事業【健康子ども部】										
1-3-① 子ども総合支援センター事業【健康子ども部】			1-3-③ 泉州広域母子医療センター運営補助事業【健康子ども部】										
1-3-① 児童発達支援事業【健康子ども部】			1-3-③ 母子健康増進事業【健康子ども部】										
1-3-② 家庭児童相談室事業【健康子ども部】			1-3-③ 母子健康診査事業【健康子ども部】										
1-3-② 子ども食堂応援事業【健康子ども部】													
1-3-② 育児ヘルプ家庭訪問事業【健康子ども部】													
1-3-② 出産記念品配付事業【健康子ども部】													
1-3-②、③ 子ども医療助成事業【健康子ども部】													

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	保育子ども課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
○ 主な取組 ① 保育環境の充実		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 認定こども園事業		ソフト	○	予算	款項目	3 2 6	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0		%
<事業概要> 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる認定こども園の運営を行います。(なるにつに認定こども園)		ハード	○		細目	02-認定こども園事業	実績	93.2	94										
事業に関連するSDGs 		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
							達成度	A	A										

子ども・子育て支援法、泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に関する条例、第2期子ども・子育て支援事業計画

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容		1 家庭支援保育士による在園家庭の育児相談・家庭訪問等(83件)、在宅家庭の育児相談(97件)等を行った。		2 ・保育人材の就労支援 「保育学生就職支援プログラム」に1名、「潜在保育士復職支援プログラム」に3名の受講があった。 ・保育士の質の向上 職員研修(7回)を実施。また、on-line研修(121講座)、ちやいどネット大阪人権保育講座(1コース・8講座)、郡市園長会、保育士会、保育子育て人権研修会等の研修を受講した。		3 適正な保育環境維持のために必要な修繕を実施した。1,123,650円(15箇所)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源		決算額	27,706千円	国庫支出金	586千円	府支出金	1,137千円	市債	0千円	其他	5,976千円										
職員数/人件費		決算書ページ	222ページ	正職員	8.39人	正職員以外の その他職員	0.24人	一般財源	20,007千円												

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
<p>&lt;成果・課題&gt;</p> <p>1. 普段からの送迎時や園庭開放等で丁寧に声をかけることで、相談につながることもあり、園への安心感にもつながっていると思う。しかし、早延長利用やかかわりが苦手な保護者に対して悩みなどをどう引き出していくかが課題である。</p> <p>2. 「潜在保育士復職支援プログラム」の参加者3名中2名は令和7年度に採用へとつながった。保育士の質の向上に関しては、個々で研修受講をしながらスキルアップにつながっていると思う。しかし、新規職員が増える中、園が大切にしてきたことなどを共有していく難しさも感じている。</p> <p>3. 施設の老朽化により、繰り返し修繕が必要となる箇所がある。</p>		<p>&lt;改善内容&gt;</p> <p>1. システムの連絡帳やアンケートを利用しながら、思いを出せるような工夫をしていく。</p> <p>2. 保育人材の就労支援については、引き続き広く周知を行い、受講者数をあげていく。保育士の質の向上については、園長・主幹保育教諭に加え、幼児教育アドバイザーも活用しながら助言や情報提供を行っていく。</p> <p>3. 施設と連携を取り、保育環境の維持のため修繕箇所の優先順位を付け、適正に修繕を実施する。</p>		<p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持 ○</p> <p>2 見直して継続</p> <p>重点化</p> <p>手段改善</p> <p>効率化(コストダウン)</p> <p>規模縮小</p> <p>事業統合</p> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p>	<p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>・乳幼児等通園支援事業開始に伴い、在宅家庭の子育て支援の充実を図る。</p> <p>・安全安心な保育及び教育を継続して提供するために、様々な媒体を利用しながら職員確保や職員の質の向上に努める。</p>		

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	保育子ども課			指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考		
○ 主な取組 ① 保育環境の充実		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
事務事業名 民間保育所等支援事業		ソフト	○	予算	款項目	3	2	6	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6		99.0	%	
<事業概要> 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる保育所・認定こども園等の運営がなされるよう補助します。(10施設)		ハード	○		細目	03-民間保育所等支援事業			実績	93.2	94											
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			目標値			達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	
		子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画						達成度			A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2																									
主な事業内容		令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																							
事業の財源		<table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>646,518千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>291,182千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,092千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>223ページ</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>448,268千円</td> </tr> </table>												国庫支出金	646,518千円	府支出金	291,182千円	市債	0千円	その他	6,092千円	決算書ページ	223ページ	一般財源	448,268千円
国庫支出金	646,518千円																								
府支出金	291,182千円																								
市債	0千円																								
その他	6,092千円																								
決算書ページ	223ページ																								
一般財源	448,268千円																								
職員数/人件費		<table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>0.64人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>0.00人</td> <td>5,789千円</td> </tr> </table>												正職員	0.64人	正職員以外の その他職員	0.00人	5,789千円							
正職員	0.64人	正職員以外の その他職員	0.00人	5,789千円																					

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																																						
事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組								備考																										
<p>&lt;成果・課題&gt; 上記1、2の事業に関しては各保護者、施設も積極的な活用が見られた。 3に関しては、1施設の活用である。 今後、国の動向に注視し、情報を集めるとともに、各施設への周知徹底を図り、積極的な活用促進に取り組む。</p> <p>Check 3</p>		<p>&lt;改善内容&gt; 有効的な補助金の活用に資するため、各補助金事業における成果のアンケート(職員数、職員の勤続年数、導入したシステムに対する保護者からの声など)を実施する。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">事業の方向性</td> <td colspan="6">事業の方向性と取組の内容</td> </tr> <tr> <td>1 現状維持</td> <td>○</td> <td colspan="6" rowspan="5">保育施設が抱える課題の把握と優先度を検討し、効率的に課題解決できるように補助金を活用しながら事業を進める。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2 見直して継続</td> </tr> <tr> <td>重点化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率化(コストダウン)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>規模縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">3 休止・廃止</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">4 完了</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容						1 現状維持	○	保育施設が抱える課題の把握と優先度を検討し、効率的に課題解決できるように補助金を活用しながら事業を進める。						2 見直して継続		重点化		手段改善		効率化(コストダウン)		規模縮小		事業統合		3 休止・廃止			4 完了			
事業の方向性		事業の方向性と取組の内容																																				
1 現状維持	○	保育施設が抱える課題の把握と優先度を検討し、効率的に課題解決できるように補助金を活用しながら事業を進める。																																				
2 見直して継続																																						
重点化																																						
手段改善																																						
効率化(コストダウン)																																						
規模縮小																																						
事業統合																																						
3 休止・廃止																																						
4 完了																																						

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	保育子ども課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合													備考
○ 主な取組 ① 保育環境の充実		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位			
事務事業名 子ども総合支援センター事業		ソフト	○		款項目	3	2	7	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2		98.6	99.0
<事業概要> 障害のある子どもたちの発達・成長のため、子ども総合支援センターを中心に個々の子どもに応じた支援を行います。		ハード	○	細目		02-子ども総合支援センター事業		実績	93.2	94										
事業に関連するSDGs		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
				子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画		達成度	A	A												

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・通所支援事業サービスを利用していない地域の障害児やその家族等への相談支援の実施や地域の子どもが関わる機関への適切な助言や支援を実施した。 ・発達検査や適切な助言・療育を行う体制を強化した。 ・発達障害に関する知識を有する心理職等が中心となり、幼児教育保育施設等を訪問し、子どもの状況や保育者の困り感等を確認しながら、必要な支援の助言を行った。 ・親子教室開催回数 93回 ・相談件数 70件(発達相談24件・育児相談38件・その他8件) ・発達検査数 147件 ・幼児教育保育施設への訪問回数 8箇所延べ34回				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
事業の財源 決算額 8,239千円 国庫支出金 0千円 府支出金 2,922千円 市債 0千円 その他 152千円 決算書ページ 225ページ 一般財源 5,165千円																
職員数/人件費 正職員 2.50人 正職員以外の その他職員 3.40人 34,013千円				方向性												

評価

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 子どもの様子や職員の関わり等を実際に訪問して聞き取ることで現状の把握ができた。また訪問先の施設職員と子どもの特性や支援内容について一緒に振り返り、考えることで、子どもが園生活を安心して過ごせるよう助言や支援を行った。今後も発達障害の早期発見・早期療育への気付きを促し、支援へとつなげていく。ケースが増え、職員のスキルの向上が必要なケースが多くなっている。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 各施設職員のスキルアップが図れるよう、発達障害児の特性理解や支援につながる具体的な方法を継続して行う。困難ケースなどは、各施設職員と相談したり必要に応じて関係機関にも相談しながら行っていく。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考												
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 引続き、各施設を訪問し、子どもの園生活や支援の状況、施設の環境等を把握し、子どもや保護者が地域で安心して過ごせるよう地域の障害理解や早期発見・早期療育につながる必要な助言や支援を行う。														

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	保育子ども課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
○ 主な取組 ① 保育環境の充実		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 児童発達支援事業		ソフト	○	予算	款項目	3 2 7	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	03-児童発達支援事業		実績	93.2	94										
<事業概要> 大阪府の指定事業で、障害のある子どもたちの発達・成長のため、個々の子どもに応じた支援を行います。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
				子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画		達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員の療育技術向上のための研修・相談・実習受け入れの実施及び事業所利用者の保護者向け研修・療育相談の実施。事業を利用している障害児やその家族等への療育相談・相談支援の実施。 ・児童発達支援事業契約数 64人 ・放課後等サービス事業契約数 13人 ・保育所等訪問支援事業契約数 23人 ・研修開催回数 27回 ・家庭訪問件数 42件		事業の財源 決算額 20,083千円 国庫支出金 50千円 府支出金 25千円 市債 0千円 その他 20,008千円 決算書ページ 226ページ 一般財源 0千円		職員数/人件費 正職員 8.50人 正職員以外のその他職員 12.18人 118,245千円	
---	--	--	--	---	--

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価



令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 発達検査の実施及び適切な助言や療育を行うため、障害特性や支援等についての研修に参加し、センター職員のスキルアップを行った。また、地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員、保護者向けの研修・相談等の実施により地域支援を行うことができた。参加者にとって学びにつながる研修になっているが、参加率(特に保護者研修)が低くなりつつある。引き続き、事業を継続することで地域での療育技術の向上を図れるようにしていく。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 児童発達支援センターとして、地域の中核的な療育支援が行うことができるようセンター職員のスキルアップを行い、関係機関職員等や保護者のニーズに沿った研修を企画し、支援の提供や参加率の向上をできるようにしていく。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考	
		事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直しで継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 地域の中核的な役割を継続するために、職員の専門職の配置や専門的なスキルアップを図る。同時に関係機関職員等や保護者向け研修や支援の提供を行っていき、引き続き事業を継続することで地域での療育技術の向上を図る。		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 3 子育て支援		新規	担当課名	家庭支援課	指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考	
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 家庭児童相談室事業		ソフト	予算	3	2	1	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%
＜事業概要＞ 子どもの最大の利益を優先し、児童虐待について発生予防から自立支援までの一連の対策を行う。また、子ども本人や保護者等からの相談対応や調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行う。		ハード	科目	04-家庭児童相談室事業			実績	93.2	94									
		市単独	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画			達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2			
主な事業内容 1. 児童・保護者等支援事業 ・親支援面接の実施(291回) ・出張型生活場面活動支援の実施(35回) ・研修会の実施(ヤングケアラー)について理解を深めるため、関係機関に対しての研修を1回実施) 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応を実施(利用0件) ・メールや手紙等をツールとした相談対応を実施(利用0件) ・これらを含む子どもの相談機関について、市内小中学校全児童に毎学期末に周知チラシを配布、また公民館等の公的機関に配架し、市立小中学生や高校生以上への周知を図った 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 相談員延べ23人が専門性を高めるための研修を受講 ・児童虐待対応に関する進行管理や個別ケース検討会議等の実施 個別ケース検討会議38件、合同ケース会議6件、実務者会議5回実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進行管理等の実施 当該を含めた3機関の養育支援訪問対象66世帯(延べ211世帯)について進行管理			
事業の財源 決算額 国庫支出金 544千円 府支出金 544千円 1,632千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 216ページ 一般財源 544千円			
職員数/人件費 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 2.70人 38,451千円			

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価				
事務事業の改善内容 Check 3 ＜成果・課題＞ ・ヤングケアラー等、新たな視点の支援対象にも対応していく必要がある。 ・子どもや妊産婦、子育て家庭に対し、包括的な支援をより一層推進することを目的に、令和6年10月に泉南市子ども家庭すこやかセンターを設置したので、母子保健機能と切れ目のない一体的支援を行うことについて、今後も様々な機会を通じての周知が必要である。 ・支援対象家庭への作成と手交が必要とされるサポートプランについて、対象家庭の一部しか行えなかったため、作成件数と手交数の増加させる必要がある。 ・児童福祉法の改正に伴い、対象者の変更が生じた養育支援訪問事業については、実施機関へスムーズに周知することができた。今後も調整機関として、進行管理を行っていく。 ・フリーダイヤルや、手紙をツールとした子ども相談は、市内の小中学校全児童にチラシを配布したものの利用がなかった。		令和7年度の改善の取組 Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		備考

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	家庭支援課			指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合													備考
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位			
事務事業名	子ども食堂応援事業	ソフト	○	予算	款項目	3	2	1	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
事業に関連するSDGs		ハード			細目	05-子ども食堂 応援事業			実績	93.2	94										
<事業概要> 泉南市子ども食堂ネットワーク登録団体に対し、子ども食堂の運営に必要な費用の一部を補助することにより、継続的・安定的な子ども食堂の運営を支援し、食事の提供をとおした子どもの居場所を確保する。		市単独			(関係法令・市条例・計画等)			達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画、第2期泉南市まち・ひと・しごと創世総合戦略						達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	1. 子ども食堂ネットワーク事業 ・ホームページによる広報を実施 ・広報せんなんによる広報を実施(1回) ・子ども食堂への支援等に関する情報提供(87回) ・子ども食堂ネットワーク交流会を開催(1回、29人参加) 2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業 ・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援(8事業者)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">         令和8年度 実施計画          ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定       </div>																		
事業の財源	決算額	1,459千円	国庫支出金	0千円	府支出金	1,459千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	0千円									
職員数/人件費	正職員	0.06人	正職員以外の その他職員	0.80人	3,360千円																

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

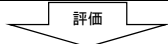
事務事業の改善内容	<成果・課題> 補助金の実績報告について、収支報告や領収書等の添付書類について、確認や指摘が必要な書類が散在した。子ども食堂ネットワーク登録団体が1団体増えた。子どもが一人で歩いて行ける範囲として、小学校区に1カ所の子ども食堂が望ましいが、まだ至ってない。	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	Check 3	<改善内容> ・令和7年度泉南市子ども食堂ネットワーク補助金会計処理のひきを作成する ・留意事項を必要に応じて発出する ・小学校区に1カ所の子ども食堂を目指し、ウェブサイト等で子ども食堂について周知する。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容		
			1 現状維持	○	子ども食堂を開催している様々な主体が、相互に連携・情報交換を図り、様々な困難を抱える家庭の子どもたちが安心して過ごせる地域の居場所づくりに取り組めるよう、子ども食堂の運営を支援し、普及・定着を推進する。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化(コストダウン)			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	家庭支援課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合														備考
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
事務事業名 育児ヘルプ家庭訪問事業		ソフト	○	予算	款項目	3 2 1	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0		%		
<事業概要> 家事・育児等に対して不安や負担を抱え、支援を行うことが特に必要な家庭に対し、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みに傾聴するとともに、家事支援や育児支援を実施することにより、当該家庭の養育環境を整え、児童虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。		ハード			細目	06-育児ヘルプ 家庭訪問事業		実績	93.2	94											
		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
				子どもの権利に関する条例				達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2																					
主な事業内容		ホームページによる広報を実施 広報せんなんによる広報を実施(1回) 委託契約締結(4事業者) 利用者(8人) 延べ利用時間数(87.5時間) 延べ利用件数(69件)																			
事業の財源		決算額	218千円	国庫支出金	72千円																
				府支出金	72千円																
				市債	0千円																
				その他	0千円																
		決算書ページ	217ページ	一般財源	74千円																
職員数/人件費		正職員	0.13人	正職員以外の その他職員	0.00人	1,176千円															

令和8年度 実施計画  
⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価														
事務事業の改善内容		<成果・課題> 対象者を1歳未満の子どもがいる家庭に限定していたが、つかまり立ちや歩きはじめた時期以降の大変さを訴える声があった。  令和5年10月に開始した事業で、妊娠届出時を中心に利用案内していたため、予算策定期間に利用者数が把握できず、事業計画時の数値で予算策定したため決裁額との乖離が大きくなった。		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組						備考	
Check 3				<改善内容> つかまり立ちや歩きはじめた時期以降の大変さを訴える声があったため、対象者を1歳未満から2歳未満の子どもがいる家庭に拡充し、利用回数について「1回の利用につき2時間以内を20回」としていたが、1時間の利用が多かったため、合計30時間とし、利用しやすいように変更した。		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容						
						1 現状維持	○	養育について複数の支援者がいない乳幼児がいる家庭の養育者で、支援を行うことが特に必要と認められる家庭に対して、家庭の養育状況を把握し泉南市育児ヘルプ家庭訪問事業支援計画を作成し、育児ヘルパーの派遣を行う。虐待リスクが高い家庭については、関係機関と連携を図り継続的な支援体制を構築する。						
						2 見直しで継続								
						重点化								
						手段改善								
						効率化(コストダウン)								
						規模縮小								
						事業統合								
						3 休止・廃止								
						4 完了								

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 3 子育て支援		新規	○	担当課名	家庭支援課			指標名 記念品配布数												備考
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続		会計名	一般会計			目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年度より指標を記念品配布数に変更 令和5年度配布実績314人のため、令和6年度以降の目標を400人とする。
事務事業名	出産記念品配布事業	ソフト	○	予算	款項目	3	2	1	実績										%	
<事業概要> 泉南市に出生届を提出した本市に住民票をおく新生児を対象に、おくるみを配布する。		ハード			細目	07-出産記念品配布事業			達成率	78.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
事業に関連するSDGs		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成度	B												
3 持続可能な社会の構築 11 持続可能な消費の推進																				

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	出産記念品配布事業		出生届提出時に市民課窓口にて出産記念品として「おくるみ」の配布を実施。		令和6年度出生者(人口統計R6.4~R7.3の合計)330人に対して令和6年度配布数312件となっているが、この差については、出生から出生届提出(14日以内)までのタイムラグによる。		令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
	事業の財源	決算額	1,026千円	国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	決算書ページ	217ページ	一般財源	1,026千円					
職員数/人件費	正職員	0.20人	正職員以外の その他職員	0.00人	1,809千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題> 「おくるみ」のデザインに本市のマスコットキャラクター(泉南熊寺郎)を起用することで、地域への愛着を深めるとともに、本市の子育て支援策に対するPRとなった。	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	Check 3	<改善内容> 新生児に「おくるみ」の配布と併せて、子どもが満2歳を迎えるまでに2回のゴミ袋の配布も行って、満1歳到達後の2回目のゴミ袋配布時に出産記念品についてのアンケートを実施し、その結果を踏まえて今後の配布する出産記念品を検討する。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容		
		1 現状維持	2 見直して継続	重点化	○	出産という貴重なライフイベントに際し、記念品を贈ることにより、子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、地域への愛着を深めることができるように図る。また、アンケート結果を踏まえ、より喜んでもらえる出産記念品のあり方を検討する。
		3 休止・廃止	4 完了	手段改善		
				効率化(コストダウン)		
				規模縮小		
				事業統合		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	家庭支援課		指標名 子ども医療証交付数												備考	
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進		継続	○	会計名	一般会計		目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年度より指標を医療証交付数に変更	
事務事業名	子ども医療助成事業	ソフト	○	予算	款項目	3 2 2	実績		8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	人	目標値は、医療証交付見込数を入力。実績が年間平均交付数。
事業に関連するSDGs		ハード		細目	01-子ども医療助成事業		達成率		101.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		令和5年度実績が7,879人のため、令和6年度以降の目標は8,000人とする。
<事業概要> 出生時、転入時に乳幼児医療証を発行し、医療費を助成する。 一部自己負担額：1医療機関あたり、入通院各500円/日(月2回限度)。1ヶ月あたりの負担限度額：2,500円。対象年齢は18歳到達年度末まで。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成度		A												
		子どもの医療費の助成に関する条例・施行規則																		
令和6年度 事務事業実績 Do 2																				
主な事業内容 出生時、転入時等に乳幼児医療証を交付し、子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上に寄与するとともに、その健全な育成と福祉の増進及び子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることにより、子育てしやすい環境を整備することを目的とする。 【助成内容】 ・1医療機関あたり、入通院各500円/日(月)2回限度 ・1ヶ月あたりの負担限度額：2,500円 ・入院時食事療養費は全額助成 ・対象年齢は18歳に達する日以後最初の年度末まで 【実績】 助成件数 92,512件 医療費助成額 182,289,456円																				
事業の財源 決算額 187,967千円 国庫支出金 0千円 府支出金 34,917千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 218ページ 一般財源 153,050千円																				
職員数/人件費 正職員 0.80人 正職員以外のその他職員 0.00人 7,236千円																				

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 以下の内容で医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上に寄与するとともに、その健全な育成と福祉の増進及び子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることにより子育てしやすい環境の整備に寄与した。 ・1医療機関あたり、入通院各500円/日(月)2回限度 ・1ヶ月あたりの負担限度額：2,500円 ・入院時食事療養費は全額助成 ・対象年齢は18歳に達する日以後最初の年度末まで 子育て世帯の負担軽減及び利便性向上のため、地単公費DX化(地単公費のオンライン資格確認、地単公費の現物化)の推進を図る必要がある。	<改善内容> 令和7年3月より先行実施しているPMH事業(地単医療のオンライン資格確認)について、医師会等の関係機関との調整により対応医療機関拡大を目指し、また、令和8年度以降に実施予定の地単公費の現物化の実施により、さらなる利用者の利便性向上を目指す。	事業の方向性 1 現状維持 2 見直しで継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 引き続き、子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上に寄与するとともに、その健全な育成と福祉の増進及び子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることにより子育てしやすい環境を整備することを目指す。 令和7年3月より先行実施しているPMH事業(地単医療のオンライン資格確認)について、医師会等の関係機関との調整により対応医療機関拡大を目指し、また、令和8年度以降に実施予定の地単公費の現物化の実施により、さらなる利用者の利便性向上を目指す。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 3 子育て支援		新規	担当課名	家庭支援課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考	
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 地域子育て支援拠点事業		ソフト	○	予算	款項目	3 2 8	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0		%
<事業概要> 直営の地域子育て支援センター『ひだまり』を中心に、就学前の子どもとその保護者の居場所である地域子育て支援センターを運営する。		ハード			細目	02-地域子育て支援拠点事業		実績	93.2	94									
		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
				子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画				達成度	A	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2

<p>主な事業内容</p> <p>1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。相談件数 335件 ・地域資源の開発</p> <p>2. 地域子育て支援拠点事業 ・委託契約締結 ・ひだまりルーム、出前保育、親子教室、子育て講座等の実施 ひだまりルーム参加延べ子ども数 4654人 出前保育参加延べ子ども数 318人 親子教室参加延べ子ども数 185人 子育て講座参加延べ子ども数 119人 ・子育てに関わる機関と連携・協力し子育て支援を行う ・育児/パパへのサポートを行う 土曜日日曜日のひだまりルーム年間4回実施 参加延べ父親数 49人</p>				<p>令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定</p>																									
<p>事業の財源</p> <table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>5,839千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">18,081千円</td> <td>府支出金</td> <td>5,839千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>564千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>228ページ</td> <td>一般財源</td> <td>5,839千円</td> </tr> </table>		決算額	国庫支出金	5,839千円	18,081千円	府支出金	5,839千円	市債	0千円	その他	564千円	決算書ページ	228ページ	一般財源	5,839千円														
決算額	国庫支出金	5,839千円																											
18,081千円	府支出金	5,839千円																											
	市債	0千円																											
	その他	564千円																											
決算書ページ	228ページ	一般財源	5,839千円																										
<p>職員数/人件費</p> <table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>3.00人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>4.80人</td> <td>41,751千円</td> </tr> </table>		正職員	3.00人	正職員以外の その他職員	4.80人	41,751千円																							
正職員	3.00人	正職員以外の その他職員	4.80人	41,751千円																									


評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

<p>事務事業の改善内容</p> <p>Check 3</p>		<p>&lt;成果・課題&gt;</p> <p>・4月から、地域子育て支援センターひだまりで使用する保育室がすべて1階に集約されたことで、利用者も職員も動線が良くなり、部屋を使いやすくなった。 ・ひだまりルーム、よちよちルーム、ころころルームは予約をせずに利用できるようになったことで利用人数が増えた。 ・あいびあ泉南内に乳幼児の遊びの広場(りるぽ)が開設されたことで、ひだまりルームが開いていない水曜日や土日にも遊ぶ場所ができ、また館内に飲食スペースができたことで、地域子育て支援センターひだまりとりるぽを利用者の状況に合わせて使い分けられるようになった。</p>	<p>令和7年度の改善の取組</p> <p>&lt;改善内容&gt;</p> <p>・事業の特性により予約が必要か不要かに分け、適切な準備や丁寧な関わりを継続する。また利用者に向け、実施事業を周知する機会を増やすため、チラシ配布及び配架、ホームページ掲載に加え、SNSも利用する。</p>	<p>Action 4</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">事業の方向性</td> <td colspan="2">事業の方向性と取組の内容</td> </tr> <tr> <td>1 現状維持</td> <td></td> <td colspan="2" rowspan="5">保護者の相談対応や利用者アンケートから、利用者のニーズを把握し、必要な支援を行うことができるよう事業の見直しを行う。</td> </tr> <tr> <td>2 見直しで継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重点化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>効率化(コストダウン)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>規模縮小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 休止・廃止</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容		1 現状維持		保護者の相談対応や利用者アンケートから、利用者のニーズを把握し、必要な支援を行うことができるよう事業の見直しを行う。		2 見直しで継続		重点化		手段改善	○	効率化(コストダウン)		規模縮小			事業統合			3 休止・廃止			4 完了			備考
事業の方向性		事業の方向性と取組の内容																															
1 現状維持		保護者の相談対応や利用者アンケートから、利用者のニーズを把握し、必要な支援を行うことができるよう事業の見直しを行う。																															
2 見直しで継続																																	
重点化																																	
手段改善	○																																
効率化(コストダウン)																																	
規模縮小																																	
事業統合																																	
3 休止・廃止																																	
4 完了																																	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 3 子育て支援		新規	担当課名	家庭支援課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考		
○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 ファミリーサポートセンター事業		ソフト	○	予算	款項目	3 2 8	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0		%
事業に関連するSDGs		ハード			細目	03-ファミリーサポートセンター事業	実績	93.2	94										
<事業概要> 子育ての援助が必要な方と子育ての援助を行いたい方を組織化し、会員相互の子育てに関する援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立を支援するとともに地域の子育て支援を行い、市民参加による協働の子育て支援を通して地域コミュニティの形成を図る。		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		子ども			子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画		達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1 ファミリーサポートセンター事業 ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 活動件数 351 新規会員登録数 22 うち利用会員 11 うち協力会員 9 うち両方会員 2 年間ペアリング件数 13 研修会実施回数 12 延べ参加人数 96		事業の財源 決算額 666千円 国庫支出金 222千円 府支出金 222千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 229ページ 一般財源 222千円		職員数/人件費 正職員 0.00人 正職員以外の その他職員 2.20人 6,699千円		令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定										
--	--	--	--	--	--	---------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3 <成果・課題> ・利用する理由は、「仕事」が86.9%、「産前・産後」と「保護者の用事」が7.4%、「きょうだいの病気」と「リフレッシュ」が1.7% ・活動内容は、「保育所・幼稚園から他施設への送迎」が49.9%、「一時的な預かり」が12.3%、「小学校から児童保育への送迎」が11.4% ・協力会員確保のため、しばらく活動がなかった会員に連絡を取り再活動を促したが、増員とはならなかった。 ・令和6年4月から、同施設内3階から1階へ引越したことで、利用者の目に留まりやすくなった。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・事業の周知、会員増員を目的として、ポスターやチラシの配布を行う。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 保護者の相談対応や利用者アンケートから、利用者のニーズを把握し、必要な支援を行うことができるよう事業の見直しを行う。	備考
---	--	--	-------------------------------	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 3 子育て支援		新規	担当課名	保健推進課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合													備考	
○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進		継続	○	会計名	一般会計		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位													
事務事業名 泉州広域母子医療センター運営補助事業		ソフト	○	予算	款項目	4 1 2	目標													
事業に関連するSDGs		ハード		細目	01-泉州広域母子医療センター運営補助事業		実績													
<事業概要> 泉州広域母子医療センター運営事業に対し、負担金を交付する。地域の安全・安心な周産期医療の確保を目指し、周産期センター(市立泉佐野病院・現地方独立行政法人りんくう総合医療センター)と婦人科医療センター(市立貝塚病院)として平成20年度にスタートし、4市3町からの財政的支援を受け、継続的・安定的に運営している。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成率														
						達成度														

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 泉南地域4市3町 出生数 泉南市/4市3町 令和元年度 出生数 428人/2,294人 令和2年度 出生数 386人/2,152人 令和3年度 出生数 402人/2,091人 令和4年度 出生数 374人/2,081人 令和5年度 出生数 329人/1,839人 令和6年度 出生数 329人(前年比±0人)/1,814人(前年比▲25人)				令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
事業の財源 決算額 19,754千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 236ページ 一般財源 19,754千円																
職員数/人件費 正職員 0.01人 正職員以外の その他職員 0.00人 90千円																

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 泉州広域母子医療センターは、ハイリスク分娩などの困難事例、夜間救急対応を含め365日24時間の受け入れ体制(常時、産科医2名、小児科医1名)が整備され、適切に運営されている。 不採算の部分ではあるが、地域の安全・安心な産科医療を継続するために、4市3町の連携支援が必須である。 泉州広域母子医療センター運営協議会及び連絡会議において、大阪大学・医師会・大阪府・各市町等が泉州地域の周産期医療体制、安心安全な母子医療について協議・調整を実施し、現在の体制を継続する必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 地域の安全・安心な産科医療を継続するために、4市3町の連携支援を行う。 泉州広域母子医療センター運営協議会及び連絡会議において、大阪大学・医師会・大阪府・各市町等が泉州地域の周産期医療体制、安心安全な母子医療について協議・調整を実施し、現在の体制を継続する。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 市内に分娩を取り扱う医療機関がないため、市民の分娩場所を確保し、早産・多胎出産、妊娠糖尿病等のハイリスク分娩にも迅速に対応できる必要がある。また、産婦人科医の不足等により、貝塚市以南の4市3町の広域で継続して取り組むことが重要である。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 3 子育て支援		新規	担当課名	保健推進課	指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考		
○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位															
事務事業名 母子健康増進事業		ソフト	○	予算	4	1	3	目標 96.0 96.2 96.4 96.6 97.0 97.4 97.8 98.2 98.6 99.0 %												
<事業概要> 妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。居場所づくりや情報提供等、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して子育てできるように支援する。必要時には、関係機関との連携を図り支援を実施する。		ハード		科目	実績 93.2 94.0 %															
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)																
		母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法 泉南市子ども・子育て支援事業計画																		
		達成率 97.1% 97.7% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%																		
		達成度 A A																		

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容		<p>1. 情報提供の充実 せんくまっこナビ(母子健康手帳アプリ):登録数608件(R7.3末) 「子育てノート」の作成(母子健康手帳交付時に配布)</p> <p>2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付:妊産婦331人、多胎2人 せんくまっこベビーサポート(出産・子育て応援給付金):出産344人、子育て318人</p> <p>3. 相談支援事業の充実 助産師相談 母子健康手帳交付370件(助産師・保健師面談)</p> <p>4. 訪問支援事業の実施(こんにちは赤ちゃん訪問)335人</p> <p>5. サロン、各教室の実施 ママサロン73人、助産師相談27人</p> <p>6. 産前・産後サポート事業 両親教室(4回)35人、産後ケア事業 利用延べ回数 25回</p> <p>7. 関係機関との連携強化</p> <p>*事業の財源:国庫支出金は、今後実績報告により返還金が決定するため、現在は一般財源がマイナスとなっている。</p>																													
事業の財源		<table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>34,514千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府支出金</td> <td>10,843千円</td> </tr> <tr> <td>40,285千円</td> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>238ページ</td> <td>一般財源</td> <td>-5,072千円</td> </tr> </table>														決算額	国庫支出金	34,514千円		府支出金	10,843千円	40,285千円	市債	0千円		その他	0千円	決算書ページ	238ページ	一般財源	-5,072千円
決算額	国庫支出金	34,514千円																													
	府支出金	10,843千円																													
40,285千円	市債	0千円																													
	その他	0千円																													
決算書ページ	238ページ	一般財源	-5,072千円																												
職員数/人件費		<table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>1.85人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>2.95人</td> <td>26,616千円</td> </tr> </table>														正職員	1.85人	正職員以外の その他職員	2.95人	26,616千円											
正職員	1.85人	正職員以外の その他職員	2.95人	26,616千円																											

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
<p>&lt;成果・課題&gt;</p> <p>出産・子育て応援給付金事業を継続し、妊娠期から子育て期の家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」の充実とともに、「経済的支援」を一体的に実施した。令和6年10月より子ども家庭すこやかセンターが設置され、児童福祉と母子保健が一体化し、妊婦から子育て世代に包括的に相談・支援する体制ができた。そして支援が必要な妊婦には妊娠届時にサポートプランを作成し支援をすることができた。</p> <p>妊婦・出産・育児に関する母子保健サービスの情報を掲載した「子育てノート」を作成し、母子健康手帳交付時に必要な情報を提供することができた。母子手帳アプリの利用では、周知と情報発信内容の検討とともに、より便利なアプリを提供するために、サービス面、財政面、業務効率等を他社と比較検証する必要がある。</p> <p>産後ケア事業では、産後に安心して子育てができる支援を行うことができた。産後の育児不安や負担の軽減のために、利用しやすいサポート体制の充実を図ることが大切である。</p>		<p>&lt;改善内容&gt;</p> <p>出産・子育て応援給付金は、令和7年度より妊婦のための支援給付金に移行され、引き続き妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援「伴走型相談支援」の充実とともに「経済的支援」を一体的に実施する。母子健康手帳交付時には、妊娠期からの関係づくりを重視し、妊婦とともにサポートプランを作成し、出産後は支援が必要なケースに早期に訪問し、サポートプランを作成し子育て支援を行う。</p> <p>母子健康手帳アプリの利用頻度が増加するよう、子育てに関する情報をタイムリーに発信できるように内容等を検討していくとともに、母子手帳交付時にアプリの活用について周知し、動員を行う。またより便利な母子手帳アプリを提供するために、サービス面、財政面、業務効率等を他社と比較検証を実施する。</p> <p>産後の支援として、アウトリーチ(訪問型)の産後ケア事業の導入など支援体制の充実を図れるように検討する。</p>		<p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持 ○</p> <p>2 見直して継続</p> <p>重点化</p> <p>手段改善</p> <p>効率化(コストダウン)</p> <p>規模縮小</p> <p>事業統合</p> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p>		<p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>子ども家庭すこやかセンターの機能の充実を図り、児童福祉と連携して子育て支援に取り組む。</p> <p>妊娠、出産、子育てを切れ目のない支援を実施し、居場所づくりや情報提供等、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して子育てできるように、関係機関との連携を図り支援を行う。</p> <p>母子健康アプリの利用頻度が増加するよう、タイムリーな情報発信を検討していくとともに、母子手帳交付時にアプリの活用について周知し、動員を行う。母子健康手帳アプリの活用案内を関係機関に実施し、活用頻度をあげる。産後ケア事業等、産後に利用しやすい支援体制の充実を図る。</p>		

第6次泉南市総合計画 実施計画


○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分			事務事業に関する活動指標													
○ 施策 3 子育て支援		新規		担当課名	保健推進課		指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考
○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名 母子健康診査事業		ソフト	○	予算	款項目	4 1 3	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%
事業に関連するSDGs		ハード			細目	02-母子健康診査事業	実績	93.2	94.0									%
<事業概要> 乳幼児・妊産婦の健康診査等とおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩み、不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援する。必要時には関係機関と連携し、支援する。妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	97.1%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法 泉南市子ども・子育て支援事業計画					達成度	A	A									
令和6年度 事務事業実績 Do 2																		
主な事業内容 1. 妊産婦健診の実施・フォローの充実 妊婦健診公費負担14回 産婦健診2回公費 産婦健診 2週間 96.4% 1か月健診 95.3% 2. 乳幼児健康診査の実施・フォローの充実(全数把握) 4か月児健診 299人 98.7% 1歳7か月児健診 347人 98.8% 3歳6か月児健診 388人 99.7% 3. 経過観察健診等の実施・フォローの充実 経過観察健診135人 発達相談262人 4. 相談支援の実施・充実 母子健康手帳の交付 370人(保健師・助産師面談) 5. 産前・産後ケア事業の充実 両親教室3回延べ36人 産後ケア事業 利用延べ回数 25回 6. 関係機関との連携の強化		令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																
事業の財源 決算額 50,771千円 決算書ページ 238ページ		国庫支出金	2,965千円	府支出金	484千円	市債	0千円	其他	0千円	一般財源	47,322千円							方向性
職員数/人件費		正職員	1.65人	正職員以外の その他職員	2.25人	22,180千円												

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
事務事業の改善内容 Check 3		<改善内容> 妊婦健診は、国基準の公費負担と産婦健診2回公費で経済的支援を実施しているが、令和7年度より近隣3市3町で統一し大阪府の公費負担の平均額まで増額することが決定している。妊婦健診や産後健診の受診では、母子健康手帳交付時等において健診の必要性を伝え働きかけていくとともに、健診機関の産科や産院と連携を強化し、産後健診の受診率を高い水準で維持することにより、母子の健康管理と支援を行う。 乳幼児健診では、子どもの健全な発育・発達を促すために、生活習慣や栄養など子育てについて適切な情報を提供していき、子育ての悩みに専門職が個別に対応し、安心して子育てができるように支援を継続する。 健診の機会を通して、母子の健康管理と育児支援を実施するとともに、必要時は他機関と連携し、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援の充実に取り組む。		1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		乳幼児・妊産婦の健康診査等とおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩みや不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援の充実に図る。必要時には関係機関と連携し、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援の充実に図る。		

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs									
施策	4	就学前教育・学校教育										
目指すまちの姿	安全・安心な環境の中で、学力向上に取り組むことができ、子どもたちの笑顔と健康が守られるまち											
施策に関する成果指標	指標項目				基準値(R3)			目標値(R14)			備考	
	幼稚園・学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合				86.9%			90.0%			令和3年度数値は幼稚園児98.9%・小学生84.0%・中学生77.8%の平均値	
	進捗状況											
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考	
目標	87.0	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績	84.8	87.5										
達成率	97.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
達成度	A	A										
掲載事業一覧【所管部】												
所管部局評価												
1-4-② 教育推進事業【教育部】			1-4-③ 中学校給食提供事業【教育部】									
1-4-② 学力向上推進事業【教育部】			1-4-③ 施設保全整備事業(幼稚園)【教育部】									
1-4-①、② JETプログラム事業【教育部】												
1-4-② 就学援助事業(小学校)【教育部】												
1-4-② 就学援助事業(中学校)【教育部】												
1-4-③ 小中一貫教育推進事業【教育部】												
1-4-③ 施設保全整備事業(小学校)【教育部】												
1-4-③ 小学校給食提供事業【教育部】												
1-4-③ 施設保全整備事業(中学校)【教育部】												
<p>【教育部】</p> <p>取組①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育については、学校教育への円滑な接続を行うため、保幼小連携会議を開催し、生活・遊びから学びにつながるための取組の交流を進め、幼稚園等の就学前施設と小学校の連携を深めることができた。今後も引き続き、部局を超えた連携を進めていく。</li> <li>・国際交流員(JET-CIR)を就学前施設へ年間を通じて170日程度(そのうち幼稚園95日)派遣し、様々な国の言葉、歌、遊び、食べ物などの紹介をすることにより、就学前の子どもの国際交流を推進することができた。今後も、保護者アンケートで集約できた意見や就学前施設の子ども・教職員のニーズに応えられるよう、丁寧に協議調整を行いながら、子どもたちの発達年齢に応じた国際交流の取組を進めていく。</li> </ul> <p>取組②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質能力向上、学力向上を推進し、教育課程への理解を深めるために、教職員研修の実施や学校教育アドバイザーが市内16校園を年間150回程度訪問し、生徒指導や学習指導の観点で、管理職等を中心に指導・助言を行った。さらに、講師や経験年数の浅い教員の授業観察等を行い、直接的・個別的にのべ394人の指導助言を実施した。今後も、計画的な研修の実施に加え、各校の実態に応じて日常的なOJTを推進することにより、教職員全体の指導力の向上につとめ、学校全体でチームとして取組を進めていく。</li> <li>・学力向上施策については、泉南っ子日本一宣言における姿の実現に向けて、「KIRAMEKI☆SUTEKI泉南っ子」を実施した。1年間でのべ約650件の応募があり、素敵な児童生徒の姿を各校において明らかにすることができ、子どもたちの非認知能力の育成に努めてきた。また民間作成教育検査を実施し、その活用等の校内研修を各校で進めてきた。その際に各学校や担当者会で指導助言を指導主事が36回行った。学力向上プランが成果の検証を令和8年度末としているため、令和7年度以降も各事業を継続して推進していく。</li> </ul> <p>取組③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の改善に向けて、小中学校特別教室空調設備設置工事、東小学校屋内運動場トイレ改修工事などを実施した。引き続き、学校と幼稚園施設の機能確保、保持のために、継続して必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などに努める。</li> <li>・(仮称)西信達義務教育学校等の整備に向け設計、工事請負、工事監理事業者との契約を締結した。今後は、設計協議、先行解体、仮設校舎の整備を進めていく。</li> <li>・子どもが学校給食を通じて、食事のマナーを学び、準備・後片付けを通して社交性の精神を学習することができた。今後は、地産地消の取組を進め、郷土料理や伝統食を学校給食で喫食できるよう努め、食文化の大切さを知る学習に繋げていく。</li> </ul>												

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 4 就学前教育・学校教育		新規		担当課名	指導課		指標名 全国学力学習状況調査の全国平均値											備考
○ 主な取組 ② 義務教育の充実		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名 教育推進事業		ソフト	○	予算	款項目	9 1 3	目標	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	
事業に関連するSDGs		ハード			細目	01-教育推進事業	実績	88.4	91									
<事業概要> 学力向上に向けた授業改善の推進や学習指導要領の着実な実施に向けて、教育課程への理解を深める。児童・生徒が安心して学校に通えるよう生活指導、生徒指導の充実に図り、小中一貫教育やギガスクール構想へのICT支援を推進する。		市単独			(関係法令・市条例・計画等)		達成率	96.1%	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
				「小学校・中学校学習指導要領」(文科省)、泉南市教育振興基本計画、生徒指導要領(令和4年12月 文科省)				達成度	A	A								

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 (学力向上)大阪府教育庁SE推進事業の一環として、砂川小学校、信達中学校のそれぞれで学校公開を実施した。市内の全教職員が参加した。 (教育課程)担当指導主事が年2回、全校訪問を行い、教育課程の年間計画授業時数の実施状況の進捗、把握、管理についてヒアリングを行った。																	
事業の財源 決算額 146,680千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 293ページ 一般財源 146,680千円																	
職員数/人件費 正職員 8.30人 正職員以外の その他職員 1.00人 79,468千円																	

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> (学力向上)認知能力検査を用いて、その結果分析を行い、授業改善を進めることができた。学校公開に全教職員が参加したことによって、市としての方針を示すことができた。また、授業後に大学教授による講演を行ったことで、本市の課題に対する知見を深めることができた。 (教育課程)各校で見直しが進んでいる。余剰時数を含めた年間計画授業時数が1086時間を上回っている学校には、改善を求めた。 Check 3		令和7年度の改善の取組 <改善内容> (学力向上)認知能力検査を用いて、その結果分析を行い、授業改善を進めることができた。学校公開に全教職員が参加したことによって、市としての方針を示すことができた。また、授業後に大学教授による講演を行ったことで、本市の課題に対する知見を深めることができた。 (教育課程)各校で見直しが進んでいる。余剰時数を含めた年間計画授業時数が1086時間を上回っている学校には、改善を求めた。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ (学力向上)TM校(確かな学びをほぐむ学校づくり推進校)は、学校公開を実施。本市の課題に正対した取り組みを広く周知する。参加者も自校の取り組みに役立てる。また、認知能力検査を実施し、授業改善を進めていく。 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 (教育課程)次期学習指導要領の改定を見据えながら、年間計画授業時数を適切に管理しつつ、各校の教育目標実現に適した柔軟なカリキュラムマネジメントとなるよう指導助言していく。 3 休止・廃止 4 完了	備考
--	--	--	-------------------------------	---	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 4 就学前教育・学校教育		新規	担当課名	学力向上対策室		指標名	全国学力学習状況調査における小中学校算数・数学・国語の「知識・技能」全国平均値に対する割合										備考		
○ 主な取組 ② 義務教育の充実		継続	○	会計名	一般会計	目標値	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 学力向上推進事業		ソフト	○	款項目	9 1 3		目標	90.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		%
事業に関連するSDGs		ハード		細目	05-学力向上推進事業		実績	89.8	93										
<事業概要> 令和4年度の全国学力・学習状況調査では「知識・技能」の習得に課題が見られた。そこで、AIドリルで個別最適化された問題に取り組み「知識・技能」の確実な習得を図る。また、民間作成教育検査を実施することで、その効果検証を行う。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	99.8%	101.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
				「小学校・中学校学習指導要領」(文科省)、泉南市教育振興基本計画、生徒指導要領(令和4年12月 文科省)			達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2			
主な事業内容 ○基礎基本の定着、家庭学習の充実・AIドリルの活用促進 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・14校、小2～中2の児童生徒に実施 ・民間作成教育検査に係る研修の実施(学校実施36回) ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「泉南っ子日本一宣言」の活用促進 ・「泉南っ子日本一宣言」の姿を具現化する事業として、「KIRAMEKI☆SUTEKI泉南っ子」事業を実施(年3回)			
事業の財源 決算額 14,799千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 14,799千円 決算書ページ 295ページ 一般財源 0千円			
職員数/人件費 正職員 2.10人 正職員以外のその他職員 1.00人 22,040千円			



令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価				
事務事業の改善内容 <成果・課題> ○AIドリルの活用について ・ログイン延べ人数や平均実施ドリル数などの活用状況は向上している。特に小学校の平均実施ドリル数は令和5年度に引き続き高い状況である。 ・活用の好事例として開発会社のウェブサイトにて2件掲載された。 ・課題は、小学校に比べると中学校の平均実施ドリル数の割合は引き続き高くないことが挙げられる。 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・児童生徒理解、授業改善の視点として効果的なものであるという認識がより進み、学校の活用が深まった。 ・推進校を2校指定し、大学教授等との共同研究による授業改善・学力向上の推進を行った。 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「KIRAMEKI☆SUTEKI泉南っ子」事業として、延べ約650人の児童生徒が応募した。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ○AIドリルの活用について ・好事例の共有、情報発信 ・活用成果の見取りの検討 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・推進校を改めて指定し、大学教授等との共同研究による授業改善・学力向上の推進 ・活用方法等研修の継続実施 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「泉南っ子日本一宣言」の姿を具現化する活動の把握・周知 ・「KIRAMEKI☆SUTEKI泉南っ子」事業の継続実施	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	備考 ・AIドリル事業は、令和7年度末までの長期継続契約であるが、泉南市学力向上プランの成果の見取りが令和8年度までであることを鑑み、契約の延長を検討する。 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進事業、学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業は、令和8年度末までの継続事業として計画している。 ・大学教授等との共同研究事業は、令和7年度の成果を鑑み、以降の実施の在り方を検討する。

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		再掲	
○ 施策 4 就学前教育・学校教育			
○ 主な取組 ② 義務教育の充実 ① 就学前教育の充実			
事務事業名	JETプログラム事業	事業に関連するSDGs	
<事業概要> JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また、幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。CIR/ALTを市民との交流のために派遣し、市内での国際交流を推進する。		 	
新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/>		事業区分 担当課名 人権国際教育課 会計名 一般会計 款項目 9 1 4 細目 02-JETプログラム事業 (関係法令・市条例・計画等)	事務事業に関する活動指標 指標名 児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%):90%以上 備考
令和6年度 事務事業実績 Do 2		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定	
主な事業内容 【翻訳・通訳(CIR)】(延べ184回) ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】(延べ374回) ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 【令和6年度 配置実績】CIR 4名 ALT 20名		事業の財源 決算額 20,997千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 296ページ 一般財源 20,997千円	
職員数/人件費 正職員 0.98人 正職員以外のその他職員 0.00人 8,864千円		方向性	

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 令和6年度は、JETプログラムを活用した多文化共生の推進において、翻訳対応と国際交流の両面で幅広い取組を展開した。翻訳件数は増加傾向にある中で、令和5年度と同程度の実績を維持しつつ、生活や教育に関する情報を多言語で発信することで、外国にルーツを持つ市民へのサービス向上を図った。 国際交流では、ALTによる授業支援に加え、幼児や市民を対象とした交流活動や講義も行い、多様な文化への理解を深める機会を広げた。一方で、翻訳や交流にとどまらず、悩みや困難を抱える市民が安心して相談できる体制の整備など、より実効性のある支援の構築が今後の課題である。	<改善内容> 令和7年度においては、国際交流員(CIR)による多言語相談窓口の存在をより多くの保護者に知ってもらうことを目的に、学校園との連携を一層強化し、園だよりや個別懇談等を通じた周知の工夫を継続的に進める。また、令和6年度から実施している異文化理解講座は、参加者から高い評価を得ており、引き続き内容の充実と案内方法の工夫を重ねながら、市民への浸透を図る。国際交流活動についても、従来の実施形態を継続しつつ、各活動の意義や目的がより伝わるよう、実施前後の情報提供や学校との連携を丁寧に行うことで、取組の定着と効果の向上を目指す。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容		令和8年度以降も、現行の国際交流活動および異文化理解講座、多言語相談窓口の取組を継続し、これまで培ってきた実績と信頼を基盤に、事業の安定的な運営を図る。学校園や地域との連携を維持し、既存の取組の質の確保と定着を重視しながら、多文化共生の推進に引き続き取り組む。
			1 現状維持 <input type="checkbox"/>	2 見直しで継続	重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合	3 休止・廃止	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標												
○ 施策 4 就学前教育・学校教育		新規		担当課名	教育サービス課					指標名					備考	
○ 主な取組 ② 義務教育の充実		継続	○	会計名	一般会計					学校に行くのが楽しいと思う児童の割合(全国学力・学習状況調査より)						
事務事業名 就学援助事業(小学校)		ソフト	○	予算	款項目	9	2	2	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14					単位		
事業に関連するSDGs		ハード			細目	01-就学援助事業					実績					%
<事業概要> 経済的な理由により就学困難な児童や、支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。		市単独			(関係法令・市条例・計画等)					達成率						
		学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱			達成度					A A						

令和6年度 事務事業実績 Do 2

◎就学援助事業【支給総額】60,447,728円 【就学援助費】 支給人数: 736人 支給総額: 54,388,649円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数: 142人 支給総額: 5,964,789円 【要保護児童生徒援助費】 支給人数: 4人 支給総額: 94,290円		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
事業の財源 決算額 60,448千円 国庫支出金 1,462千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 301ページ 一般財源 58,986千円											
職員数/人件費 正職員 0.40人 正職員以外の その他職員 0.50人 5,236千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

<成果・課題> 経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。入学準備金の申請については、スマート申請を導入し、利用者の利便性を向上させた。 Check 3		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ①就学援助のお知らせで、援助の内容(4月認定の場合の年間支給額)の表を、支給時期(前期か後期)と支給金額を明記し、どの支給費目がいつ支払われるかが分かるよう表記を変更した。 ②提出の締切を間違えないよう、申請書にも申請期限を記載した。 ③今後の参考とするため、提出いただく申請書に希望する提出方法を選んでいただくアンケートを実施した。 ④小学校入学準備金のスマート申請者を増加させるため、調整区にお住まいの方の指定校変更申立もスマート申請からできるよう手続き方法を改善する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることができるよう、さらなる制度の活用促進を目指す。 ・利用者側の利便性の向上、担当課の事務効率の向上等のバランスを考慮しつつ、市民サービス向上を模索する。	備考
--	--	---	-------------------------------	---	---	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 4 就学前教育・学校教育		新規		担当課名	教育サービス課			指標名 学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合(全国学力・学習状況調査より)												備考		
○ 主な取組 ② 義務教育の充実		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
事務事業名 就学援助事業(中学校)		ソフト	○	予算	款項目	9	3	2	目標	76.5	77.0	77.5	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	%		
事業に関連するSDGs		ハード		細目	01-就学援助事業			実績	81.8	83.5												
<事業概要> 経済的な理由により就学困難な生徒や、支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。				(関係法令・市条例・計画等)			学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱															
達成率		106.9%		108.4%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
達成度		A		A																		

令和6年度 事務事業実績 Do 2

◎就学援助事業【支給総額】37,986,946円 【就学援助費】 支給人数: 428人 支給総額: 34,594,091円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数: 44人 支給総額: 3,036,678円 【妻保護児童生徒援助費】 支給人数: 6人 支給総額: 356,177円		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
事業の財源 決算額 37,987千円 正職員 0.40人 正職員以外の その他職員 0.50人 職員数/人件費 5,236千円		国庫支出金 1,016千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 36,971千円												

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

<成果・課題> 経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ①就学援助のお知らせで、援助の内容(4月認定の場合の年間支給額)の表を、支給時期(前期か後期)と支給金額を明記し、どの支給費目がいつ支払われるかが分かるよう表記を変更した。 ②提出の締切を間違えないよう、申請書にも申請期限を記載した。 ③今後の参考とするため、提出いただく申請書に希望する提出方法を選んでいただくアンケートを実施した。 ④小学校入学準備金のスマート申請者を増加させるため、調整区にお住まいの方の指定校変更申立もスマート申請からできるよう手続き方法を改善する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考
事務事業の改善内容 Check 3		事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることができるよう、さらなる制度の活用促進を目指す。 ・利用者側の利便性の向上、担当課の事務効率の向上等のバランスを考慮しつつ、市民サービス向上を模索する。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり		事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 教育総務課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 9 1 2 ハード <input type="checkbox"/> 細目 04-小中一貫教育推進事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) 泉南市立小中学校再編計画(令和5年3月策定)		事務事業に関する活動指標 指標名 小中一貫校整備校数 備考 令和6年度は、教職員からの意見聴取、事業者選定委員会などを行い、設計施工一括発注方式により事業者と契約締結した。										
事務事業名 小中一貫教育推進事業 事業に関連するSDGs	目標値 実績 達成率 達成度													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 (仮称)西信達義務教育学校の整備を進めるため、設計施工一括発注方式により事業者と契約締結した。 1. 令和5年度に策定した学校基本計画をもとに教職員と必要となる施設整備内容を確認 2. (仮称)西信達義務教育学校等整備事業者選定委員会開催 ・概要 施設等整備に係る要求水準書等の作成、公募、総合評価一般競争入札による事業者の選定 ・期間 令和6年6月から令和7年3月まで(3回) 3. 落札事業者との契約締結協議 ・期間 令和7年1月から2月 4. 令和7年3月議会に工事請負等契約締結議案を提出 5. 議会の議決を受け設計業務、工事請負、工事監理契約を締結	令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
事業の財源 決算額 26,904千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 292ページ 一般財源 26,904千円	職員数/人件費 正職員 0.80人 正職員以外のその他職員 0.20人 8,115千円									

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 1. 成果 ・(仮称)西信達義務教育学校の整備を進めるため教職員の意見を聴取した。 ・教職員の意見及び学識経験のある選定委員会委員から意見を踏まえ、要求水準書等を作成し、事業者を募集した。 議会の議決を受け設計業務、工事請負、工事監理契約を締結した。 2. 課題 ・事業者の提案内容の精査、教職員等の意見を踏まえ、具体的な設計協議を行う。 ・建設、解体工事が始まるため、安全に配慮し事業を進める。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・事業者の提案を受け、整備事業の契約を締結したが、提案内容の精査、教職員との意見交換などを行い、建築・設備などの設計協議を実施する。 ・生徒の安全、教育活動に配慮し、仮設校舎整備内容、先行解体施設を整理し、仮設校舎の整備、解体工事を実施する。 ・事業を進めるために必要な諸条件を整理し、工事等を実施する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考
	事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 <input type="checkbox"/> 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 ・学校等の整備工事が開始するため、生徒の安全、教育活動に配慮し、工事の進行確認を行う。	

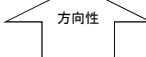
第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり 事務事業名 施設保全整備事業(小学校) 事業に関連するSDGs <事業概要> 小学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。	事業区分				事務事業に関する活動指標														
	新規		担当課名	教育総務課	指標名	LED化が完了した市立小学校数										備考			
	継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位			
	ソフト		予算	款項目	9	2	3	目標	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	校
	ハード	○		細目	01-施設保全整備事業			実績	9	9									
市単独		(関係法令・市条例・計画等)			目標値	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則、泉南市教育振興基本計画等					達成度	A	A												

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 学校施設等修繕 ・修繕件数:111件 ・主な内容:段差解消(樽井小学校)、グラウンド(鳴滝小学校)、植栽、屋根、誘導灯、防火扉、遊具、庇などの修繕 2. 机天板交換 ・交換枚数:800枚 ・実施校数:7校(5,6年生) 3. 工事設計委託 ・信達小学校給水管改修工事設計委託 ・各小学校屋内消火栓設備他改修工事設計委託 ・旧鳴滝第1小学校他除却工事設計委託 4. 東小学校屋内運動場トイレ改修工事 5. 各小学校特別教室空調設備設置工事:8校、21教室 6. 各小学校屋内運動場空調設備他設置工事設計委託:10校 7. LED照明器具備上 9校																					
	事業の財源 決算額 218,883千円 国庫支出金 26,821千円 府支出金 0千円 市債 139,600千円 その他 15,187千円 決算書ページ 302ページ 一般財源 37,275千円																				
職員数/人件費		正職員	0.45人	正職員以外の その他職員	0.35人	5,608千円															

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. 机天板交換は、現行の机より大きな天板サイズに交換することで教育環境の向上につなげることができた。引き続き全児童の机天板交換に向け事業を継続する必要がある。 3. 工事設計は、予定していた内容を完了することができたため、令和7度予算を確保し業務を実施する。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 1. 令和6年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 令和6年度に実施した設計業務の工事を実施する。 3. 施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、設計業務を実施する。 4. 小学校屋内運動場空調設備設置工事を行う。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 泉南市立小中学校再編計画を進めるため、既存施設の状態調査、各種設計業務、改修工事の準備を進める。	備考
----------------------	---	---	-------------------------------	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせるまち ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 ○ 主な取組 ③ 安全安心な教育環境づくり		事業区分 新規 ○ 担当課名 教育総務課 継続 ○ 会計名 一般会計 ソフト ○ 予算 款項目 9 2 4 ハード ○ 細目 02-小学校給食提供事業 市単独 ○ (関係法令・市条例・計画等)		事務事業に関する活動指標 指標名 給食を満足と感じている児童の割合 備考																																																																											
事務事業名 小学校給食提供事業 事業に関連するSDGs		教育大綱 教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画		<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>93.0</td> <td>94</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.9%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											指標名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	備考	目標	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	%		実績	93.0	94											達成率	98.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			達成度	A	A										
指標名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	備考																																																																			
目標	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	%																																																																				
実績	93.0	94																																																																													
達成率	98.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																																					
達成度	A	A																																																																													
令和6年度 事務事業実績 Do 2																																																																															
主な事業内容 子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化の大切さを理解するため安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 (年次計画) 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊かな人間性を育むことができるよう、市内10小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 (実績) 年間を通して、各小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 年間提供日数 193日 給食提供数 569,199食		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																																																																													
事業の財源 決算額 162,249千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 303ページ 一般財源 162,249千円		方向性																																																																													
職員数/人件費 正職員 3,00人 正職員以外の その他職員 2,00人 33,701千円		評価																																																																													

令和6年度 事務事業評価														
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> <成果> 令和6年度年4月から12月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和7年1月から3月まで学校給食費の無償化を実施することにより、物価高騰等の影響を受ける家庭への子育て支援をすることができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化する中で、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。 食育を推進することで、成長期における食生活の重要性、食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 <課題> 食料費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。		令和7年度の改善の取組 Action 4 <改善内容> ①令和7年4月から令和8年3月までの給食費の一部を補助することにより、児童の保護者負担を軽減する。 ②令和7年度9月からの食缶デリバリー方式による小学校給食の提供に向けた給食の試行を実施するとともに在学小学校児童及び新入学生に対して食物アレルギー調査を行い、安全・安心に喫食出来る給食提供体制を整えるよう、小学校と綿密な調整を図る。 ③牛乳パックリサイクルの取組の推進を図る。 ④食の大切さを再認識するための食育の推進を図る。 ⑤食物アレルギーが多様化する中、個別の状況に応じて丁寧な対応が必要である。		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了							備考	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 4 就学前教育・学校教育		新規		担当課名	教育総務課			指標名 LED化が完了した市立中学校数												備考
○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり		継続	○	予算	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名 施設保全整備事業(中学校)		ソフト			款項目	9	3	3	目標	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	
<事業概要> 中学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。		ハード	○	細目	01-施設保全整備事業			実績	3	3										
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
					学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則、泉南市教育振興基本計画等			達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 学校施設等修繕 ・修繕件数:50件 ・主な内容:校舎、教室、天井、トイレ、屋根、空調、浄化槽、沈殿槽などの修繕 2. 工事設計委託 ・西信達中学校アスベスト分析調査業務委託 3. 各中学校屋内運動場強力空調設備設置工事設計委託:4校 4. 各中学校特別教室空調設備設置工事:2校、8教室 5. 空調機借上:4校 6. LED照明器具借上:2校				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 90,063千円 国庫支出金 11,449千円 府支出金 0千円 市債 57,100千円 その他 6,770千円 決算書ページ 307ページ 一般財源 14,744千円															
職員数/人件費 正職員 0.40人 正職員以外の その他職員 0.30人 4,936千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. 工事設計は、予定していた内容を完了することができたため、令和7年度予算を確保し業務を実施する。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 1. 令和6年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 令和6年度に実施した設計業務の工事を実施する。 3. 施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、設計業務を実施する。 4. 中学校屋内運動場空調設備設置工事を行う。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせるまち ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり		事業区分 新規 ○ 担当課名 教育総務課 継続 ○ 会計名 一般会計 ソフト ○ 予算 款項目 9 3 4 ハード 細目 01-中学校給食提供事業 市単独 ○ (関係法令・市条例・計画等) 教育大綱、教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画		事務事業に関する活動指標 指標名 給食を満足と感じている生徒の割合 備考												
事務事業名 中学校給食提供事業 事業に関連するSDGs <事業概要> 市立中学校に在籍する生徒に栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供する				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
				目標	75	77	81	82	83	84	84	84	84	84	%	
				実績	77	81										
				達成率	102.7%	105.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
				達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2 主な事業内容 子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 (年次計画) 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊かな人間性を育むことが出来るよう、市内4中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 (実績) 年間を通して、各中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 給食提供日数 192日 給食提供数 276,319食				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 96,471千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 308ページ 一般財源 96,471千円		職員数/人件費 正職員 0.00人 正職員以外の その他職員 1.00人 3,521千円													


評価

方向性


令和6年度 事務事業評価 事務事業の改善内容 <成果・課題> <成果> 令和6年4月から12月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和7年1月から3月まで学校給食費の無償化を実施することにより、物価高騰等の影響を受ける家庭の子育て支援をすることができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化する中で、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。 食育を推進することで、成長期における食生活の重要性・食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 <課題> ①食料費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。 ②食物アレルギーが多様化しているため、個別の状況に応じて丁寧に対応する必要がある。		令和7年度の改善の取組 Action 4 <改善内容> ①令和7年4月から令和8年3月までの給食費の一部を補助することにより、児童の保護者負担を軽減する。 ②食の大切さを再認識するための食育の推進を図る。 ③食物アレルギーが多様化する中、個別の状況に応じて丁寧な対応が必要である。	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 1 現状維持 ○ ①食の大切さを再認識するための食育の推進に取り組む。 ②食物アレルギーが多様化する中、個別の状況に応じて丁寧な対応が必要である。 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	備考
--	--	---	--	----



第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs										①生涯学習の推進 ◇生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供を行います。 ◇関係団体の活動・発表・交流の場や機会の提供等、生涯学習活動の支援を行います。 ◇読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、楽しみながら読書活動ができる環境の整備を図ります。 ②スポーツ活動の推進 ◇地域資源を活用したスポーツイベントの実施や開催支援、国際大会の誘致等、その経験や国際協力関係をいかした生涯スポーツ社会の実現に寄与します。 ◇スポーツ、芸術、文化の分野で将来にわたり活躍が期待できる人を支援します。 ◇あらゆる世代を通じたスポーツを楽しむ環境づくりや、泉南りんくう公園(SENAN LONG PARK)等を活用したスポーツイベントを展開します。 ③青少年の健全育成 ◇地域全体で子ども・青少年の健やかな育成に取り組む機運を高め、家庭・学校・地域団体等との連携により子どもの居場所の確保と青少年の健全育成に取り組めます。 ◇留守家庭児童会運営事業の充実、強化を図ります。		
施策	5	生涯学習・スポーツ・青少年健全育成													
目指すまちの姿	誰もが生涯学習と健康なからだづくりを楽しめる、心豊かな生活と学びを支えるまち														
施策に関する成果指標	指標項目		基準値(R3)		目標値(R14)		備考								
	人口一人当たりの生涯学習施設の年間利用回数		2.6回		3.9回		生涯学習施設(市民体育館、双子川テニスコート、市民球場、図書館、文化ホール、公民館、青少年センター)								
	進捗状況														
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考			
	目標	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9				
実績	3.8	4.6													
達成率	127.7%	148.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
達成度	A	A													
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価			
1-5-① 公民館運営事業【教育部】 1-5-① 図書館運営事業【教育部】 1-5-① 文化ホール指定管理事業【教育部】 1-5-① 図書館文化ホール改修事業【教育部】 1-5-② 国際的スポーツエリア「SENAN CAMP」創造事業(夢の教室)【教育部】 1-5-② 国際的スポーツエリア「SENAN CAMP」創造事業【教育部】 1-5-③ 泉南っ子応援事業【教育部】 1-5-③ 青少年センター運営事業【教育部】 1-5-③ 留守家庭児童会運営事業【教育部】												【教育部】 取組① 公民館運営事業については、市内4公民館を良好な状態で施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を行った。また、樽井公民館非常用自家発電設備工事のための実施設計、新家公民館トイレ洋式化など利用者の安全・安心確保、利便性向上を図った。令和7年度以降も施設継続して改修、修繕等を行う。また、事務局としてクラブ協議会等団体の育成、クラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供することができた。一方で、クラブ員の高齢化、会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退などの問題については、樽井公民館においては規約を見直し、会費、会議回数を削減し、各クラブの負担を軽減したことで、クラブの加盟があった。また、信達公民館においては、学校クラブ活動と協働して新たな活動支援に取り組んだ。令和7年度以降もさらなる支援方策研究、クラブ協議会等再活性化を行い、加盟を促進続ける。 図書館運営事業については、図書館・文化ホール開館40周年記念事業として、文化ホール指定管理者との共催事業をはじめ、多様なイベントの開催や企画展示を実施し、多くの方の参加があった。この他、資料の収集、整理、貸出や調査相談等を行うとともに、各種事業を実施し読書活動ができる環境づくりに努めた。一方で、各年代向けのサービスと図書館からの情報発信をより強化し、地域の情報拠点としての役割を果たしていく必要もあり。令和7年度以降も各事業を継続、発展させ、図書館が市民の大切な居場所となるよう、多様なサービスを提供する取り組みを進めていく。また、職員の子世代育成を行い、持続可能な図書館運営を図っていく必要があると認識している。 文化ホール指定管理事業については、指定管理者が適切な維持管理、運営を行うことにより、施設が適切に維持された。また、図書館・文化ホール開館40周年記念自主事業や図書館との共催事業開催をはじめ、様々な団体と連携して事業を展開することで市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興が図られた。今後ともに市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる必要があると認識しており、様々な団体と連携した事業を展開していく必要がある。 取組② 国際的スポーツエリア「SENAN CAMP」創造事業(夢の教室)については、継続して実施してきたが、改めて令和6年度からアンケートを実施し、指標達成に向けて計画的に事業を進める必要があると認識している。 国際的スポーツエリア「SENAN CAMP」創造事業については、オープンウォータースイミング泉南大会への参加者が目標値を50%上回る実績値となった。今後は、引き続き広報等や賑わいの創出に努め、参加者の増加、ひいては2027年のワールドマスターズゲームズの機運醸成につなげていく。 取組③ 泉南っ子応援事業については、目標値を31%上回る実績値となった。引き続き本事業の周知に努め、子どもへの支援を通じてさらなるスポーツ及び文化芸術の振興に努める。 青少年センター運営事業については、講座講習、自主活動事業、小学校での元気広場事業を円滑に実施することができた。引き続き、青少年の健全育成を推進していくため、家庭や学校園・地域のボランティア等の協力を得ながら、子どもを見守る機運の醸成を図り、子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりに努めていく。 留守家庭児童会運営事業については、児童にとってもより安全安心な児童会となるよう、今後の在り方を含めた検討を進める。また、令和6年度からアンケートを実施し、利用者の満足度の向上と事業の強化に取り組む。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	指標名										備考		
○ 主な取組 ① 生涯学習の推進		継続	○	会計名	人口一人当たりの公民館の年間利用回数										・令和7年3月末人口 57,917人 ・令和6年度利用者数 39,761人		
事務事業名 公民館運営事業		ソフト	○	款項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		単位	
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	目標	0.45	0.45	0.45	0.50	0.50	0.50	0.55	0.55	0.55		0.60	回
<事業概要> 講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)	実績	0.63	0.68										
		社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画		達成率	140.0%	151.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
				達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 (R7.3末時点の人口57,917人) 1.年間利用者数 榊井(9,729人)・信達(10,350人)・新家(14,249人)・西信達(6,433人)：計39,761人 2.年間利用件数 榊井(906件)・信達(1,243件)・新家(1,272件)・西信達(451件)：計3,872件 3.登録クラブ数 榊井(16団体)・信達(35団体)・新家(33団体)・西信達(10団体)：計94団体 4.公民館における文化活動、自主事業等の開催回数：7回 5.自習室開設実績及び参加人数 夏期：7/20～8/25・開設日数：37日・利用者合計21人 冬期：12/25～1/7・開設日数：14日・利用者合計1人 春期：3/26～4/7・開設日数：13日・利用者合計22人 6.消防避難訓練開催実績及び参加人数 榊井(6/16：19人・12/8：38人)・信達(6/23：45人・12/15：35人)・新家(6/23：41人・12/15：36人)・西信達(6/16：14人・12/8：12人)：計240人				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 17,645千円 決算書ページ 321ページ		国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 2,750千円 その他 4,027千円 一般財源 10,868千円													
職員数/人件費 正職員 2.25人 正職員以外の その他職員 3.96人 35,583千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、老朽化している榊井公民館非常用自家発電設備工事のための実施設計を行い利用者の安全を確保した。また、新家公民館2階の和式トイレを洋式トイレに改修し利用者の利便性を図った。その他、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。 ・クラブ等利用登録業務により団体を育成支援を行い、クラブ活動発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。 ・公民館まつりを榊井、新家、信達各公民館で開催し、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・講座等自主事業実施にあたっては、広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館のクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで自主的な文化・芸術活動を支援した。特に、榊井公民館においては規約を見直し、会費、会議回数を削減し、各クラブの負担を軽減し、未加盟団体に呼びかけたところ、新たに3団体の加盟があった。また信達公民館においては、学校におけるクラブ活動と協働して新たな活動支援に取り組んだ。	令和7年度の改善の取組 Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な講座内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編案と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 ・目先の利益だけにとられることなく、公民館全体の施設、業務運営の在り方について慎重に検討を行う。 ・仮称西信達義務教育学校内に開設される仮称西信達コミュニティセンターの内容や開館に向けての運営形態を検討する。	備考
----------------------	--	---	-------------------------	--	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分				事務事業に関する活動指標												
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	文化振興課	指標名	人口一人当たりの図書館の年間利用回数											備考
○ 主な取組 ① 生涯学習の推進		継続	○	会計名	一般会計	目標値	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和7年3月末人口 57,917人 ・令和6年度利用者数 88,571人
事務事業名 図書館運営事業		ソフト	○	款項目	9 5 9	目標	1.30	1.40	1.50	1.55	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	回	
<事業概要> 市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。		ハード		細目	02-図書館運営事業	実績	1.53	1.53										
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率	117.7%	109.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
4				図書館法、泉南市立図書館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画、泉南市子ども読書活動推進計画		達成度	A	A										
令和6年度 事務事業実績 Do 2																		
主な事業内容		1. 地域の情報拠点の整備として、資料の収集、提供や調査相談等を実施した。 ・利用者数 88,571人、貸出者数 53,105人、貸出冊数 303,972冊 ・自動車図書館の運営(定例巡回383回、特別巡回16回) ・社会見学、職業体験、調べ学習等の受け入れ(24回) 2. 読書活動推進事業(図書館・文化ホール開館40周年記念事業)として、以下の事業を実施した。 ・特別行事(図書館・文化ホール開館40周年記念イベント「アルパ」とお話し)82人、多言語のおはなし会40人、おこづかい講座44等(計11件17回452人) ・定例行事(乳幼児おはなし会等)計49回193人 ・こども読書週間事業(春のこどもまつり)32人、ぬい糸配布 ・秋の読書週間事業(リサイクル市398人、ボランティア共催おはなし会38人) ・市民協働事業(ジュニア司書クラブ24回、図書館応援団活動4グループ105回、ブックスタート12回、計8件141回) ・連携事業(出張本講座5回、出張おはなし会7回、泉南市子育てフォーラム、夏休み居場所事業10小学校、JETまつりや公民館人形劇公演への出張図書館、連携展示等) ・特展展示(非鉄平和等、年間120以上のテーマで実施) ・その他企画(本を借りてガチャで商品をあてよう、のぼし本はコレだ! 募集)等 3. 居場所やサードプレイスの機能充実として、以下の事業を実施した。 ・きらめきサポーター活動 38日 ・自習室の開館(236日、1,529人)																
事業の財源		決算額	国庫支出金		0千円													
		18,594千円	府支出金		630千円													
			市債		0千円													
			その他		120千円													
決算書ページ		323ページ	一般財源		17,844千円													
職員数/人件費		正職員	2,83人	正職員以外の その他職員	11,11人	59,856千円												

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																			
事務事業の改善内容		<成果・課題>			令和7年度の改善の取組				Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組							備考	
Check 3		・自動車図書館の運営については、17か所への月2回の定期巡回に加え、学校、園、地域フォーラム等への特別巡回を行い、来館が困難な方への貸出等のサービスを提供することができた。今後も引き続き、安定したサービスを維持、提供するため、老朽化している車両の更新が課題である。 ・図書館・文化ホール開館40周年記念事業として、文化ホール指定管理者との共催事業をはじめ、多様なイベントの開催や企画展示を実施し、多くの方に参加していただくことができた。幅広い年代層へ、さらなる利用促進をするため、あらゆる場や媒体を活用した積極的な情報発信の強化が必要である。 ・関係各課、団体と連携した事業や市民協働事業の中で、ボランティアや小中学生の意見を反映した事業を行い、効果的な運営を行った。 ・持続可能な図書館運営のため、各事業やイベント等の見直しや、職員の次世代育成を図る必要がある。			<改善内容> ・自動車図書館の安定したサービスの維持、提供のため、車両更新の検討を行う。 ・地域の情報拠点として、子どもから高齢者の方まで、幅広い層への情報発信の強化のため、各年代向けのサービスの充実と、図書館のウェブサイトのみにでなく、あらゆる情報提供の場を活用した広報を行う。 ・関係各課、団体と連携した事業、市民協働事業を今後も継続、発展させ、図書館が市民の大切な居場所となるよう、多様なサービスを提供する。 ・職員の次世代育成を行い、持続可能な図書館運営を図っていく。				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。 ・施設の在り方については、公共施設再編と連携して、施設の複合化等の検討を深める。								

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																			
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	指標名 人口一人当たりの文化ホールの年間利用回数												備考						
○ 主な取組 ① 生涯学習の推進		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												・令和7年3月末人口 57,917人 ・令和6年度利用者数 29,422人						
事務事業名 文化ホール指定管理事業		ソフト	○	款項目	0.30 0.35 0.40 0.45 0.50 0.55 0.60 0.60 0.60 0.60 0.60 回																		
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	実績 0.47 0.51																		
<事業概要> 指定管理者制度による運営及び施設の維持管理及び実施事業を通じ、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。		市単独		達成率 156.7% 145.7% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%																			
		(関係法令・市条例・計画等) 泉南市立文化ホール条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画		達成度 A A																			
令和6年度 事務事業実績 Do 2																							
主な事業内容 1. 指定管理者との定期的意見交換会の開催 11回 2. 年間利用者数・利用者数 ・ホール、関連諸室(513件、22,712人)、展示室(188件、6,710人) 計701件、29,422人 3. 自主事業実施数 ・ホール(館内施設「99年生きて思うこと」映画上映、こどもたちのためのコンサート、市民合唱祭、敬老月間恒例企画「お好み演奏会」、ふれあいコンサート2回、人権週間「市民の集い」、スタジオオレンジ・きらめき舞踊発表会:8件、2,555人) ・展示室「アール&お話し〜響き合う心・未来へ〜」、親子で学ぶおこづかい講座、市民作品展2回、4件775人 4. 施設の修繕、備品の更新等(教育委員会実施分) 空調設備(冷温水機)修繕、展示パネル23台更新、消火器51本更新 5. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 1月29日、3月6日 参加者計26人																							
事業の財源 35,316千円		国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	決算書ページ	324ページ	一般財源	35,316千円										
職員数/人件費		正職員	0.09人	正職員以外の その他職員	0.00人	814千円																	

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価		令和7年度の改善の取組												Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組												備考															
事務事業の改善内容 Check 3		<改善内容> ・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術に触れる機会を充実させる。 ・老朽化していた展示パネル23台を更新した。利便性が向上し、貸館事業や自主事業の展示会等で活用することができた。 ・施設の維持管理については、リスク分担に基づき、指定管理者は緊急性の高いものから順次実施し、教育委員会では、空調設備(冷温水機)修繕を行い、安全・安心な環境を整備することができた。 ・指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的な意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化を行った。														事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了														事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術に触れる機会を充実させる。 ・施設の在り方については、公共施設再編と連携して、施設の複合化等の検討を深める。													

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規	○	担当課名	文化振興課										指標名				備考			
○ 主な取組 ① 生涯学習の推進		継続		予算	会計名		一般会計										目標値	・R6年度改修実施件数 2件				
事務事業名 図書館文化ホール改修事業		ソフト			款項目	9	5	9	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			R13	R14	単位	
<事業概要> 個別施設計画及び文化ホールの在り方の検討結果に基づき、利用者の安全・安心を確保し、施設を継続使用するための改修事業を行う。		ハード	○	細目	06-図書館文化ホール改修事業										実績							
		市単独		○	(関係法令・市条例・計画等)										達成率	100.0%	0.0%					
		図書館法、泉南市立図書館条例、泉南市立文化ホール条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画										達成度	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 実施設計に基づき、外壁・屋上防水改修工事を実施した。 2. ブロック塀改修工事を実施した。		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
事業の財源 決算額 54,835千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 54,500千円 その他 0千円 決算書ページ 324ページ 一般財源 335千円											
職員数/人件費 正職員 0.20人 正職員以外の その他職員 0.00人 1,809千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> ・個別施設計画、文化ホールの在り方の検討結果及び包括外部監査の意見に基づき、外壁・屋上防水改修工事とブロック塀改修工事の2件を実施した。事故等を防ぎ、施設利用者をはじめ地域住民の安全・安心を確保することができた。 ・改修工事実施にあたり、住宅公園課や施工業者、文化ホール指定管理者、関係団体等と綿密な調整を図り、臨時閉館をすることなく工事を行い、施設利用者等に対する影響を最小にすることができた。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・令和7年度は、老朽化している空調設備(送風機)改修工事の実施設計委託を予定しており、引き続き計画的な改修が必要である。 ・空調設備(送風機)実施設計にあたっては、令和8年度以降に実施される空調設備(送風機)改修工事等に向けて、住宅公園課等と施設利用者等に対する影響を少なくするための調整が必要がある。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考
	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
	1 現状維持 ○	・引き続き、空調設備(送風機)改修工事、冷温水器分解整備(オーバーホール)の実施等、必要な改修工事を計画的に実施する。		
	2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合			
3 休止・廃止 4 完了				

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	指標名														備考			
○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位														令和6年度からアンケート実施			
事務事業名	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業(夢の教室)	ソフト	○	予算	9	5	4	目標														
事業に関連するSDGs		ハード		細目	実績																	
<事業概要> 元プロスポーツ選手などを招聘し、実体験に基づく授業を通じて、夢を持つことの大切さや失敗を乗り越えて夢や目標に向かって努力する意識を育む。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)																		
3 持続可能な開発目標 4 質の高い教育をみんなに		05-国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業																				

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、市立中学校の4校の2年生全14クラスを対象に5～11月にかけて授業を行った。	令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源 決算額 2,020千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,020千円 決算書ページ 315ページ 一般財源 0千円														
職員数/人件費 正職員 0.50人 正職員以外の その他職員 0.00人 4,523千円														

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 毎年実施しているJFA主体の事業実施後アンケートが令和5年度以降実施されていないため、令和6年度からは、市を主体として事業実施後アンケートを行っており、目標達成に向けて事業を進めた。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和6年度に引き続きアンケートを実施し、目標達成に向けて事業を進める。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 令和8年度以降も市主体の事業実施後アンケートを実施し、目標達成度に応じて随時JFAと相談しながら、授業内容や授業形態を検討する。	備考
----------------------	--	--	-------------------------------	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	生涯学習課		指標名 泉南オープンウォータースイミング大会の参加者数											備考	
○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業		ソフト	○	予算	款項目	9 6 2	目標	200	460	600	700	800	900	1,000	1,000	1,000	1,000		件
<事業概要> 市民に健全なスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供し、市民の健康の増進と明るく豊かな市民生活の向上を図る。		ハード		細目	02-国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業		実績	301	431										
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	150.5%	93.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		泉南市教育振興基本計画						達成度	A	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タライサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 令和6年10月6日(日)泉南オープンウォータースイミング大会2024を開催 参加申込数467名、当日参加者431名		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定										
事業の財源 決算額 4,500千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 4,500千円 決算書ページ 328ページ 一般財源 0千円												
職員数/人件費 正職員 0.26人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,352千円												

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3 <成果・課題> 令和5年度から本大会が日本水泳連盟公認の大会となり、国内オープンウォータースイミングサーキットシリーズの会場として組み入れられることとなった。参加者は令和5年度と比較して、1.4倍に増加しており、年々知名度が上がっていると思われる。 その一方で、大会の観覧者は参加者の家族などが中心であり、大会自体の盛り上がりには欠けることは否めない。今後は、WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027関西の開催に向けて、幅広い年代に対して競技の周知や魅力を伝える必要があるとともに、会場となるタライサザンビーチやロングパークに訪れる人々へのPRを進め、大会への参加者の増加や賑わいの創出に努める必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和6年度に続き、大会開催の周知をSNS等を通じて発信し、水泳教室や大学のクラブ等に向けて参加を促す。大会会場であるタライサザンビーチと隣接するロングパークを活用し、賑わいづくりの創出に努める。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027の開催に向けて、大会参加者の増加に努めるとともに世界大会開催への運営に関するスキルアップを目指す。	備考
---	--	--	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規	○	担当課名	生涯学習課			指標名												備考
○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進		継続		会計名	一般会計			オリンピック又はパラリンピック出場奨励金の交付件数												
事務事業名 保健体育団体推進事業		ソフト	○		細目	01-保健体育団体推進事業			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事業に関連するSDGs		ハード		(関係法令・市条例・計画等)			目標												件	
<事業概要> 夏季若しくは冬季オリンピック競技大会又は夏季若しくは冬季パラリンピック競技大会に出場する本市の選手に、オリンピック又はパラリンピック出場奨励金を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成することを目的とする。		市単独	○	泉南市教育振興基本計画、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等交付要綱			実績	0												
								達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
								達成度	D											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 【各種大会等対外試合派遣業務委託】 大阪府総合体育大会泉南地区大会に6競技が参加した。 (バレーボール・卓球・軟式野球・ソフトテニス・テニス・サッカー) 大阪府総合体育大会中央大会に2競技が出場した。 (ソフトテニス・サッカー) 【泉南市総合体育大会開催業務委託】 12競技を実施した。 (バレーボール・軟式野球・卓球・ソフトテニス・剣道・サッカー・テニス・アーナトランポリン・少林寺拳法・グラウンドゴルフ・スポーツチャンバラ・水泳) 【りんくうマラソン大会開催業務委託】 239名の参加があった。		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 3,494千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 327ページ 一般財源 3,494千円													
職員数/人件費 正職員 0.30人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,714千円													

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 令和6年度はオリンピック・パラリンピックへの出場奨励金の交付決定者はいなかった。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 大阪府総合体育大会や泉南市総合体育大会については、各競技の参加者を集計し、競技スポーツを実施する市民の数の増加を図る。	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考
			事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 今後も引き続き、日頃取り組んでいるスポーツの成果を発揮できる機会を提供し、スポーツ活動の推進につなげる。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規	○	担当課名	指標名 泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付件数												備考
○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成		継続		会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												
事務事業名 泉南っ子応援事業		ソフト	○	款項目	20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 件												
事業に関連するSDGs		ハード		細目	実績 29 29												
<事業概要> 国際的規模及び全国的規模の競技会、コンクール等に出場又は出展する本市の子どもに、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成する。		市単独 ○		達成率 145.0% 131.8% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%													
		(関係法令・市条例・計画等) 泉南市教育振興基本計画、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等交付要綱		達成度 A A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 国際的規模及び全国的規模の競技会等に出場等する本市の子どもに泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付する。 (令和6年度交付実績) 個人-全国大会 23件 個人-国際大会 4件 団体-全国大会 2件		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 1,754千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 316ページ 一般財源 1,754千円													
職員数/人件費 正職員 0.30人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,714千円													


評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 交付件数は目標値を上回り、一定の成果があった。しかし、交付申請があった29件は全てスポーツの大会出場に関する交付申請であったため、今後は文化芸術系のコンクール等の出場者も交付申請可能であることを周知する必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 広報紙・ウェブサイト・市SNSを活用し、さらなる事業の周知を図る。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 奨励金を交付することで、全国大会等に出場する本市の子どもへの支援とスポーツ及び文化芸術の振興につなげる。	備考
----------------------	--	--	--	--	---	---	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	生涯学習課					指標名 青少年センター関連事業への参加・利用者数										備考
○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成		継続	○	会計名	一般会計					R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位										
事務事業名 青少年センター運営事業		ソフト	○	予算	款項目	9	5	5	目標											
<事業概要> 講座の開催、自主活動の推進、安全・安心な居場所の提供等、遊びや学びを通じて青少年の健全育成を行います。 		ハード		細目	03-青少年センター運営事業					実績										
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)					達成率											
		泉南市立青少年センター及び児童館設置条例、「青少年センターのあり方」についての基本方針					達成度													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する講習講座事業を実施。(22事業延べ34回実施、延べ参加者数915名) 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージとした自主的な活動やまちづくりへの参加参画といった自主活動事業を実施。(7事業延べ22回実施、延べ参加者数539名) 3. 元気広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年の安全で安心な居場所となる子ども元気広場事業等を実施。(延べ660日実施、延べ参加者数18,458名)													
事業の財源 決算額 1,766千円 国庫支出金 0千円 府支出金 370千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 317ページ 一般財源 1,396千円													
職員数/人件費 正職員 1.92人 正職員以外のその他職員 4.92人 33,859千円													

令和8年度 実施計画  
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 青少年センターあり方基本方針に則り、職員ひとりひとりが利用者として丁寧な関わりを持つことを意識し、こどもとの関わりについても、傾聴・共感の姿勢で関わる事ができた。利用者については、令和5年度に大幅に増加したが、令和6年度もさらに増加した。口コミにより青少年センターや市民交流センター別館児童館の利用者、また各小学校で実施する元気広場事業への参加者が増加した。令和5年度の改善の取組として、各学校での元気広場には、各地区の民生委員児童委員協議会への協力依頼とともに、学生等別途ボランティアの依頼を行ったが、時間的な制約もあり、ボランティアの参加に至らなかった。講座等については、アンケートによるニーズ調査を実施する等、より充実した講座を実施することができた。		令和7年度の改善の取組 Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了										備考
----------------------	--	---	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成		新規		担当課名	生涯学習課		指標名 留守家庭児童会利用に関する総合的な満足度												備考
○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年度からアンケート実施	
事務事業名 留守家庭児童会運営事業		ソフト	○	予算	款項目	9 5 6	目標	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	%		
<事業概要> 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊び及び生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成、自立支援及び子育て支援を図る。		ハード			細目	02-留守家庭児童会運営事業	実績	83											
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			達成率	125.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
3 持続可能な開発目標 4 質の高い教育をみんなに				泉南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、泉南市留守家庭児童会実施要綱			達成度	A											
令和6年度 事務事業実績 Do 2																			
主な事業内容		9小学校で10施設を開設し、464人の児童を受入れ、適切な遊び、生活環境を提供できた。		開所日数：293日 職員研修実績：4回 認定資格研修所持率：74.4% 避難訓練・不審者対応訓練の実施：年間2回 施設修繕(新家留守家庭児童会床修繕など) 空調機入替え(砂川留守家庭児童会)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源		決算額	19,809千円	国庫支出金	5,851千円	府支出金	5,851千円	市債	0千円	其他	7,512千円	決算書ページ	319ページ	一般財源	595千円				
職員数/人件費		正職員	1.83人	正職員以外の その他職員	46.00人	167,094千円													

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																		
事務事業の改善内容		Check 3		<成果・課題> <成果> 日中、保護者が仕事等の理由により、不在となる小学生に対して、授業の終了後等に安全な遊び場、生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成、保護者の子育て支援を実現できた。 <課題> 今後安全・安心な保育環境を維持するために、施設の維持修繕や適切な人員数の確保・支援員の資質向上などに取り組む必要がある。また、障害児に対する対応をきめ細かく行うこと、保育時の事故対応を適切かつ迅速に行えるように日頃から有事を想定して行動することが大切となる。		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組								備考	
				<改善内容> 支援員の資質向上のため職員に人権研修などの研修会を実施、災害や不審者対応などの有事を想定した訓練実施に取り組む。 長期休業中に児童会を利用する児童保護者の負担軽減のため、本市に登録された屋敷配達業者から保護者が弁当を直接注文できる体制を整える。 待機児童が発生している児童会は、小学校内での新規クラブ開設のため、調整に取り組む。 老朽化の激しい施設を重点的に修繕等の維持管理を行い、児童が利用しやすい環境を整えて改修を行っていく。				事業の方向性		事業の方向性と取組の内容								
								1 現状維持	現在運営施設においては適切な維持・管理を行い、待機児童の解消を図るため、必要に応じて新規クラブ開設の準備を図る。また、学校再編計画に合わせた施設のあり方を検討し、調整を行っていく。									
								2 見直して継続	重点化									
									手段改善	○								
									効率化(コストダウン)									
									規模縮小									
									事業統合									
								3 休止・廃止										
								4 完了										

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs									
施策	6	歴史・文化	 									
目指すまちの姿	歴史的・文化的な地域資源に親しみを持ち、郷土愛が育まれるまち											
	歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。											
施策に関する成果指標	指標項目		基準値(R3)				目標値(R14)				備考	
	学習活動等に活用された文化財の件数		118件				150件					
	進捗状況											
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
	目標	120	125	130	135	140	141	143	144	147	150	
	実績	82.0	162.0									
達成率	68.3%	129.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
達成度	B	A										
掲載事業一覧【所幹部】												
<p>1-6-① 文化財保存活用事業【教育部】</p> <p>1-6-② 公民館運営事業【教育部】</p>												
<p>【教育部】</p> <p>取組① 文化財保存活用事業については、教育関係機関への出前授業など、地域の文化財に対する意識向上の機会を創出し、地域資源を活用した様々なイベントを実施することによって、埋蔵文化財センターを核とした、人が集まる仕組づくりを進め、併せて地域の文化財に関するPR活動を推進することができた。また、歴史や文化財に関連するフィールドワークを開催することにより、歴史を学ぶ機会の創出や、文化財への興味を喚起する場の提供を行うことができた。その一方で、将来に向けて地域の文化財保護を担ってゆく中心となるべき若年層や子育て世代への文化財に対する関心の少なさは大きな課題と認識しており、今後はこれらの世代への効果的なPR手法の検討に取り組んでいく。</p> <p>取組② 公民館運営事業については、事務局としてクラブ協議会等団体の育成、支援を行い、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場を確保することで、自主的な文化・芸術活動を支援した。同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。今後とも、講座等自主事業実施にあたっては、内容を精査し、市の各種計画に沿った市民ニーズの高いものを実施する。一方で、クラブ員の高齢化、会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退などの問題については、梅井公民館においては規約を見直し、会費、会議回数を削減し、各クラブの負担を軽減したことで、3団体のクラブ加盟が新たにあった。また、信達公民館においては、学校クラブ活動と協働して新たな活動支援に取り組んだ。令和7年度以降もさらなる支援方策研究、クラブ協議会等再活性化を行い、加盟を促進を続ける。</p>												
<p>①歴史的資産の活用</p> <p>◇文化財や伝承の保存と活用、新たな地域資源の発掘や開発を行います。 ◇地域の文化的財産に対する意識向上に向けた学習の場や、文化財・伝統芸能を紹介・PRする機会を創出します。 ◇小中学校園や埋蔵文化財センターを核とした人が集まれる仕組づくりや、子どもや家族向けの地域資源を活用したイベントを通じたPR活動を実施します。</p> <p>②市民文化活動の充実</p> <p>◇市民による自主的な文化活動に対する支援の充実を図ります。 ◇広報紙やホームページ、SNS等を活用したPRによる自発的な文化活動への参加支援を行います。 ◇多様な文化・芸術に触れる機会の創出や、市民ボランティアの育成等、市民の意見を取り入れた運営を実施します。</p>												
<p>主な取組</p>												
<p>所管部局評価</p>												

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 6 歴史・文化		新規		担当課名	生涯学習課				指標名 学習活動等に活用された文化財の件数												備考
○ 主な取組 ① 歴史的資産の活用		継続	○	会計名	一般会計				R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												
事務事業名 文化財保存活用事業		ソフト	○	予算	款項目	9	5	10	目標												
<事業概要> 歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。		ハード		細目	02-文化財保存活用事業				実績												
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)				達成率													
		達成度																			

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・学校教育への協力、出張授業(9回・延べ485人参加) ・他施設への協力、イベント出展(4回・延べ189人参加) ・市民による文化遺産(せんなんのたからもの)の活用(5回・59点活用) ・研究目的での文化財の資料観察(1回・3点) ・重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示(100点・延べ265日展示) ・フィールドワークの実施(4回・64人参加) ・自宅で楽しめる体験学習キットの配布(12回・189人申込) ・文化財に関わる講座を実施(6回・194人参加)		令和8年度 実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 11,419千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 325ページ 一般財源 11,419千円		職員数/人件費 正職員 0.52人 正職員以外の その他職員 0.64人 6,652千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> フィールドワークや講座の開催など様々な方法によって、文化財の普及啓発を進めた。また、館内において展示を行うことによって、歴史に関心を持つ市民や来館者に対して、文化財に対する興味関心の向上、喚起を行うとともに、学校等への出張授業への取組もこれまでどおり積極的に行った。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 展示や講座、フィールドワークについて、アンケート調査等を行うことによって、市民ニーズへの対応を進めたい。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 展示スペースの減少を勘案して、よりアウトリーチ型の取組によって文化財の普及啓発を推進する。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる		再掲	事業区分				事務事業に関する活動指標											
○ 施策 6 歴史・文化			新規		担当課名	文化振興課	指標名	公民館における文化・芸術活動の開催回数										
○ 主な取組 ② 市民文化活動の充実		継続	○	会計名	一般会計	指標値	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和7年度3月末人口 57,917人 ・令和5年度利用者数 39,761人
事務事業名 公民館運営事業		ソフト	○	款項目	9 5 8	目標	6	6	7	7	8	8	9	10	10	10	回	
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	02-公民館運営事業	実績	9	7										
<事業概要> 講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成率	150.0%	116.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
				社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画		達成度	A	A										
令和6年度 事務事業実績 Do 2																		
(R7.3末時点の人口57,917人) 1.年間利用者数 樽井(9,729人)・信達(10,350人)・新家(14,249人)・西信達(5,433人)：計39,761人 2.年間利用件数 樽井(906件)・信達(1,243件)・新家(1,272件)・西信達(451件)：計3,872件 3.登録クラブ数 樽井(16団体)・信達(35団体)・新家(33団体)・西信達(10団体)：計94団体 4.公民館における文化活動、自主事業等の開催回数：7回 5.自習室開設実績及び参加人数 夏期：7/20～8/25・開設日数：37日・利用者合計21人 冬期：12/25～1/7・開設日数：14日・利用者合計1人 春期：3/25～4/7・開設日数：13日・利用者合計22人 6.消防避難訓練開催実績及び参加人数 樽井(6/16:19人・12/8:38人)・信達(6/23:45人・12/15:35人)・新家(6/23:41人・12/15:36人)・西信達(6/16:14人・12/8:12人)：計240人																		
事業の財源 決算額 17,645千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 2,750千円 その他 4,027千円 決算書ページ 321ページ 一般財源 10,868千円																		
職員数/人件費 正職員 2.25人 正職員以外の その他職員 3.96人 35,583千円																		

令和8年度 実施計画  
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価						
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、老朽化している樽井公民館非常用自家発電設備工事のための実施設計を行い、利用者の安全を確保した。また、新家公民館2階の和式トイレを洋式トイレに改修し利用者の利便性を図った。その他、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。 ・クラブ等利用登録業務により団体を育成支援を行いクラブ活動発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。 ・公民館まつりを樽井、新家、信達各公民館で開催し、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・講座等自主事業実施にあたっては、広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館のクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで自主的な文化・芸術活動を支援した。特に、樽井公民館においては規約を見直し、会費、会議回数を削減し、各クラブの負担を軽減し、未加盟団体に呼びかけたところ、新たに3団体の加盟があった。また信達公民館においては、学校におけるクラブ活動と協働して新たな活動支援に取り組んだ。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・引き続き、クラブ員の高齢化、会員減少などどのように対処するのかを考える。 ・事務局としてさらなる支援方策研究、クラブ協議会等再活性化を行い、加盟の促進を続ける。 ・魅力的な内容で、さらなる講座参加者増の研究を行う。 ・事務局として公民館クラブ協議会等へのバックアップと、確実な公民館まつりの開催と活性化も検討する。	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	事業の方向性 1 現状維持 2 見直し継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な講座内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編室と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 ・目先の利益だけにとらわれることなく、公民館全体の施設、業務運営の在り方について慎重に検討を行う。 ・仮称西信達義務教育学校内に開設される仮称西信達コミュニティセンターの内容や開館に向けての運営形態を検討する。				